SPEEDIA N6000

ハードウェアマニュアル

消耗品の交換、用紙の補給、オプションの取付、トラブルの解決方法等、プリンタの機械的な操作方法について記載されています。

T-861P-2
MA0505-A　2005年5月31日　第1版発行

目　次

本書中のマークと表記について

マークについて

本書では、以下のマークによって、ご注意いただきたい重要事項や、取り扱い上の補足説明を記載しています。
マークの付いている記述は、必ずお読みください。

この記載に従わないで誤った取り扱いをすると、プリンタが故障する事が想定される内容を記載しています。

取り扱い上の補足説明や、ご確認いただきたい事を記載しています。

☞ **関連した内容の参照先を示しています。**

☞ **この色になっている項目をクリックすると、該当するページを参照できます。（元の画面に戻りたいときはAcrobat Reader の ← 「前の画面」ボタンを押します。）**

表記について

本書では、パソコンのオペレーティングシステムを以下のように省略して記載する事があります。

＜正式名称＞

Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版
Microsoft® Windows® XP Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Server™ 2003 日本語版

＜省略記載＞

Windows 98
Windows 2000
Windows Me
Windows XP
Windows Server 2003
総称する場合は「Windows」と記載する場合があります。
併記する場合は「Windows 98/2000/Me/XP/Server2003」のように「Windows」を省略する場合があります。

Windows の画面について

本書に掲載の Windows のパソコン画面は、特に指定がない限り、WindowsXP の画面を例に使用しています。
Windows の OS により画面の表示方法が異なります。

詳しくは☞ プリンタドライバマニュアル（22ページ）をご覧ください。

諸注意事項

本書の適用機種

本書は以下の製品を安全に正しくお使いいただくための取扱説明書です。製品をご使用になる前によくお読みください。また、ご使用中もお手元に置いてご活用ください。

● SPEEDIA N6000

保証について

プリンタ本体に同梱の「お客様登録カード」に必要事項をご記入の上、投函してください。着信しだいお客様の登録手続きを行ない、保証書をお送りいたします。

☞ 付録 7. 保証について（103 ページ）

＊ **本装置は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。**
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によって異なります。本装置および関連消耗品などをこれらの規制に違反して諸外国に持ち込むと罰則が課されることがあります。

瞬時電圧低下耐力について

本装置は落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じる事があります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こす事があります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求される事があります。

高調波規制について

この装置は、「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

国際エネルギースタープログラムについて

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー 化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ、複写機、スキャナ、複合機のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

印刷内容に関するご注意

● 通貨・有価証券等を不正に印刷する事は、法律により禁止されています。
● 本プリンタには、不正な印刷に使用されたプリンタを特定する機能が搭載されています。

ご　注　意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載する事を禁止します。
(2) 本書の内容は将来予告なしに変更する事があります。
(3) 本書に記載されなかった最新の情報がプリンタドライバの「ヘルプ」もしくはテキストファイル「README.TXT」に記載される事があります。その他最新の製品情報やプリンタドライバのダウンロードサービスをインターネットでご提供しております。
http://www.casio.co.jp/ppr/
(4) 本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(5) 運用した結果の影響につきましては、(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、当社指定のもの以外の第三者による修理・改造および、当社純正品以外のオプションまたは消耗品を使用した事等に起因して生じた障害及び、トラブル等につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
(7) 「PC-PR201H」「201H」は日本電気株式会社の登録商標です。
(8) 「ESC/P」、「ESC/Page」は、セイコーエプソン株式会社の商標です。
(9) 「Microsoft」「Windows」「Windows NT」は米国Microsoft corporationの米国ならびに他の国における登録商標です。
(10) その他の社名、商品名およびソフトウェア名は、一般に各社の商標または登録商標です。

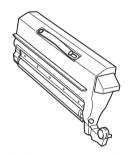
1. 消耗品の交換方法

1.1 消耗品について

●ドラムセット

色別にブラック、イエロー、シアン、マゼンタの 4 種類があります。
ブラック　：N60-DSK
カラー　　：N60-DS3C
（イエロー、シアン、マゼンタの 3 色セット）

交換目安：ブラック約 38,000 枚　条件：A4・レターサイズ
　　　　　カラー　約 28,000 枚　　　　連続プリントにて

●トナーセット

	回収協力トナーセット※1	トナーセット※2
ブラック	N60-TSK-G	N60-TSK-N
イエロー	N60-TSY-G	N60-TSY-N
マゼンタ	N60-TSM-G	N60-TSM-N
シアン	N60-TSC-G	N60-TSC-N

※ 1「回収協力トナーセット」はカシオ計算機株式会社が所有権を保有し、使用許諾契約に基づきお客様に一定期間使用権を許諾する消耗品です。
使用済みの「回収協力トナーセット」は添付の案内書をご覧いただき、必ずカシオにご返却ください。（無料）

※ 2 使用済みの「トナーセット」は、ご自身で廃棄するかカシオにお送りいただくか（無料）をご都合に合わせて選ぶことができる消耗品です。
ご自身で廃棄する場合は、必ず地域の条例や自治体の指示に従ってください。カシオにお送りいただく場合は添付案内書をご覧ください。

交換目安：ブラック約 15,000 枚　条件：平均印字率 5%、A4・レターサイズ
　　　　　カラー　約 15,000 枚　　　　連続プリントにて

●定着クリーナ

交換目安：約 15,000 枚

定着ユニットの熱ローラの汚れを取り除いたり、オイルを供給しています。
定着クリーナ　：N60-TCLN

条件：平均印字率各色 5%（合計 20%）、A4･レターサイズ、連続プリントにて

※ 消耗品の交換目安は各条件でプリントした場合です。各条件以外でプリントした場合は、交換目安より早く交換時期になることがあります。

⚠ 注 意

- **トナーは人体に無害ですが、手や皮膚についたときはすぐに洗ってください。万一トナーが目に入ったときは、すぐに水道の水で目に入ったトナーを洗い流し、眼科医の診療を受けてください。**
- **子供の手の届かないところに保管してください。**
- **ドラム・トナーセット交換の際は、トナーで周囲を汚さないように紙などを敷いてから行なってください。トナーが衣服に付いたときは、ぬらさずに掃除機で吸い取ってください。**

取り扱い上のご注意

- ドラムセットの感光体ドラム（青緑色の筒）やトナーセットの現像ロール（トナーが供給されるロール）に傷や汚れが付くと、画像が汚れたり黒スジが印刷されるようになります。この場合新しい消耗品に交換しないと直りませんので、ご注意ください。
- 室内の灯りの下でも、ドラムセットを５分以上放置しないでください。
- ドラムセットをプリンタから取り外した場合は、強い光にあてないよう厚い布などに包んでください。

- 寒い所から暖かい所に移動した場合は、１時間以上室温に慣らしてから使用してください。
- トナーセットの現像ロール（トナーが付着している部分）にホコリやゴミ（ステイプラの針、クリップなど）が付着しないよう取り扱いにご注意ください。
- 立てたり、逆さまにして置かないでください。
- 分解や改造はしないでください。

消耗品保管上のご注意

- 使用するまで開封しないでください。
- 直射日光を避け、標準梱包状態にて温度０～35℃、湿度20～90%の結露しない場所に保管してください。
- 立てたり逆さまにして保管しないでください。

消耗品はカシオ純正品をご使用ください。純正品以外のご使用は、印字品質の低下だけでなく、プリンタ本体の故障の原因となる場合があります。プリンタ本来の性能を十分発揮し、快適な出力環境でご使用いただくために、カシオ純正の消耗品をご使用ください。

1.2 使用済みの消耗品について

⚠ 注 意

使用済みのドラムセット、トナーセット、定着クリーナは焼却しないでください。一部可燃性の部材を使用していますので、火災・やけど・ガスの発生など、思わぬ事故の原因になる事があります。

＜使用済み消耗品の無償回収について＞

カシオ計算機は、お客様でご使用済みとなりましたドラム･トナーセットを、地球環境保全と資源の有効活用のために無料にて回収をしております。
弊社の環境保全活動にご協力賜りたく、ご案内申し上げます。

＜回収のお申し込み方法＞

ご使用済みのカシオ製ドラム･トナーセット回収のご用命は、ドラム・トナーセットに同梱の「ドラム・トナーセット回収申込書」に必要事項をご記入の上、ファクシミリでお送りいただくか、弊社ホームページにてお申し込みください。
後日、宅配業者が回収にお伺いいたします。（費用は弊社にて負担させていただきます）
回収申込ファクシミリ番号、回収申込ホームページなど、詳細は新しい消耗品に同梱の案内書をご覧ください。

＜お願い＞

お手数ですが、ご使用済みのドラム・トナーセットは、新しいドラム・トナーセットが入っていた梱包箱・ポリ袋・緩衝材を再使用し、元通りに梱包して宅配業者にお渡しください。
１個でも回収にお伺いしますが、環境への負荷を極力低減するために、３～５個をまとめて、ガムテープなどでしばってください。

ポイント　やむを得ず、使用済み消耗品を処分されるときは、必ず地域の条例や自治体の指示に従ってください。

1.3 ドラムセットの交換方法

（表示例）

ド゛ラム　コウカン　　　KYCM

K：ブラック
Y：イエロー
C：シアン
M：マゼンタ

メッセージランプが点滅し、図のようなメッセージが表示されて、プリンタが停止しているときは、ドラムセットの交換時期です。
次の手順に従って新しいドラムセットに交換してください。

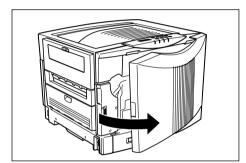
注意！ ドラムセットはN6000用をご使用ください。
1.1 消耗品について（6ページ）参照
N5、N5000Series用のドラムセットは使用出来ませんので、ご注意ください。

ポイント **取消** ボタンを押すと、メッセージランプが点灯に変わり印刷を再開しますが、フロントカバーの開閉や電源の再投入により、再び印刷が停止しますので、早めにドラムセットを交換してください。

ポイント 新品同様でも1度プリンタに取り付けたドラムセットに交換してもエラーは解除されません。また、交換時期も延長されませんので、1度使用したドラムセットは途中で交換せずに最後までご使用ください。

ポイント トナーセットやドラムセットを交換の際にトナーがこぼれる事があります。紙などを敷いて作業してください。

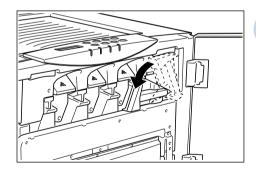
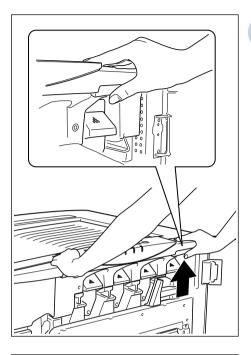
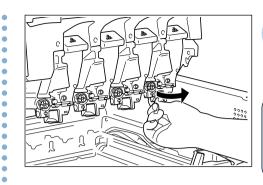
ド゛ラム　コウカン　　　K

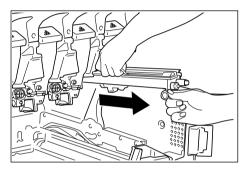
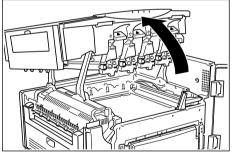
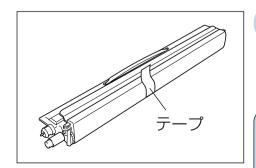
1 どの色のドラムセットが交換時期か確認します。図の例ではブラックのドラムセットが交換時期です。

2 フロントカバーを開けます。

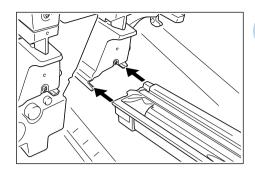
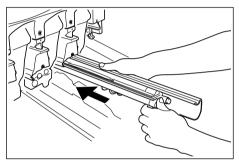
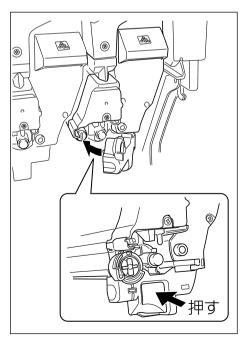
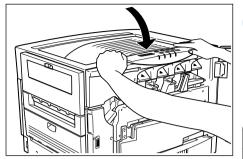
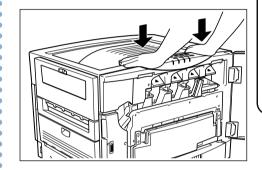
ポイント 印刷中はフロントカバーを開けないでください。

3 ロックレバーを解除（左）側に倒します。

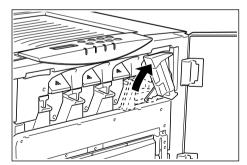
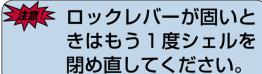
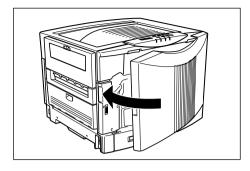
4 シェル解除ボタン（右側の取っ手）を押しながらゆっくり持ち上げます。

5 シェルをいっぱいに止まるまで開けます。

シェルは最後まで開けてください。途中で止めたり、開けたシェルに手を触れると、シェルが閉じて手などをはさまれ、けがをする恐れがあります。

6 交換するドラムセットの連結レバーを起こします。

ポイント 連結レバーが戻らなくなる位置（90°）まで完全に起こします。

7 ドラムセットの取っ手（ベルト）を持ちながら引き抜きます。

プリンタ内部にドラムセットを落とさないようご注意ください。
プリンタ内部の転写ベルトに傷が付くと、交換が必要になる場合があります。

8 新しいドラムセットを箱から取り出し、テープをはがします。

ポイント このときはまだドラムカバーを外さないでください。

9 ドラムセット挿入口のレールに、ドラムセットのツバが掛かるようにセットします。

10 ドラムカバーを手で支えながら、ドラムセットだけを押し出すように、奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。

11 連結レバーを倒し、図の部分を押してカチッとロックします。

12 シェルをゆっくり閉め、両手で押してカチッとロックします。

注 意

シェルを閉めるときは、周囲の人の手や物をはさまないよう十分ご注意ください。

13 ロックレバーをロック側（上向き）に起こしてロックします。

ロックレバーが固いときはもう１度シェルを閉め直してください。

14 フロントカバーを閉めます。

注意！ フロントカバーを閉め、モーターが回転し始めてから5秒間は以下の操作をしないでください。
① フロントカバーの開 / 閉
② 電源スイッチのOFF/ON

注意！ フロントカバーが閉まらないときは、ロックレバー（手順 *13* ）がロック側（上向き）になっている事を確認してください。

1.4 トナーセットの交換方法

```
トナー　コウカンヨコク　KYCM
```

メッセージランプが点滅し、図のようなメッセージが表示されてプリンタが停止しているときは、トナーが残り少なくなった事を示しています。新しいトナーセットをご準備ください。

↓ 取消ボタンを押す

```
トナー　コウカンジ゛キ　KYCM
```

取消ボタンを押すと、メッセージランプが点灯に変わり、左図のようなメッセージに変わり、印刷を再開します。

↓ ブラック：約 1,100 枚
カラー　：約　100 枚
但し、A4 サイズ、5%印字率、連続印刷にて

```
トナー　コウカン　　　KYCM
```

K：ブラック
Y：イエロー
C：シアン
M：マゼンタ

再びメッセージランプが点滅し、左図のようなメッセージが表示され、プリンタが停止しているときは、トナーセットの交換時期です。

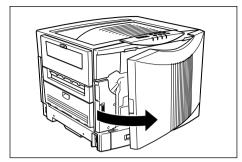
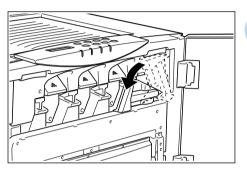
ポイント 「トナー　コウカン」表示でプリンタが停止したときに、トナーセットを取り出して軽く振るともう少しプリントできる事があります。

次の手順に従って新しいトナーセットに交換してください。

注意！ トナーセットはN6000用をご使用ください。
1.1 消耗品について（6ページ）参照
N5、N5000Series用のトナーセットは使用出来ませんので、ご注意ください。

「トナー　コウカンジキ」と表示されている間は、用紙サイズや印刷面積（印字率）によっては、途中でトナーがなくなり印刷がかすれる場合があります。そのまま印刷を続けると、ドラムセットまで劣化する恐れがありますので新しいトナーセットに交換してください。

トナー　コウカン　　　　K

1 どの色のトナーセットが交換時期か確認します。
図の例ではブラックのトナーセットが交換時期です。

2 フロントカバーを開けます。

ポイント 印刷中はフロントカバーを開けないでください。

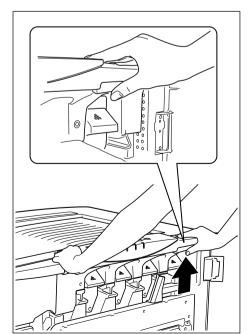
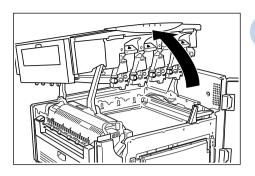
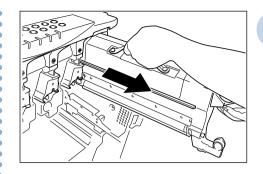
3 ロックレバーを解除（左）側に倒します。

4 シェル解除ボタン（右側の取っ手）を押しながらゆっくり持ち上げます。

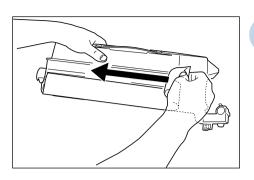
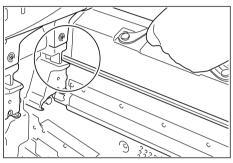
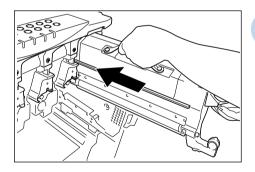
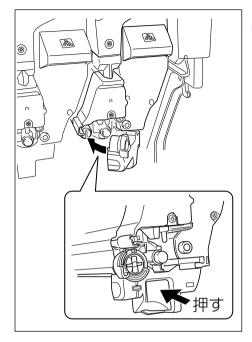
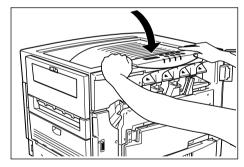
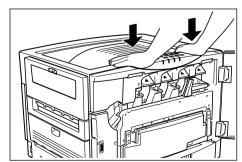
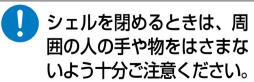
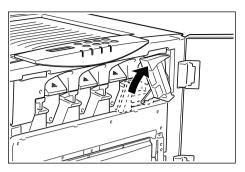
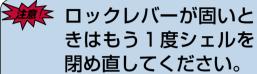
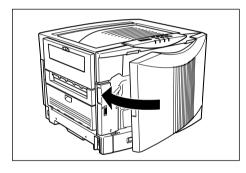
5 シェルをいっぱいに止まるまで開けます。

注 意

シェルは最後まで開けてください。途中で止めたり、開けたシェルに手を触れると、シェルが閉じて手などをはさまれ、けがをする恐れがあります。

6 交換するトナーセットの連結レバーを起こします。

ポイント
連結レバーが戻らなくなる位置(90°)まで完全に起こします。

7 トナーセットを途中まで引き出し、取っ手(ベルト)が見えたら、取っ手を持ちながら引き抜きます。

注意!
転写ベルトの上にトナーセットを落とさないようご注意ください。
転写ベルトに傷が付くと、交換が必要になる場合があります。

8 新しいトナーセットを箱から取り出し、図のように数回ゆっくり振ります。

9 トナーシールテープをはがします。

10 トナーセット挿入口のレールに、トナーセットのツバが掛かるようにセットします。

11 トナーセットを奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。

12 連結レバーを倒し、図の部分を押してカチッとロックします。

13 シェルをゆっくり閉め、両手で押してカチッとロックします。

注 意

シェルを閉めるときは、周囲の人の手や物をはさまないよう十分ご注意ください。

14 ロックレバーをロック側（上向き）に起こしてロックします。

注意! ロックレバーが固いときはもう１度シェルを閉め直してください。

15 フロントカバーを閉めます。

注意! フロントカバーを閉め、モーターが回転し始めてから5秒間は以下の操作をしないでください。

① フロントカバーの開／閉
② 電源スイッチのOFF/ON

注意! フロントカバーが閉まらないときは、ロックレバー（手順 *14* ）がロック側（上向き）になっている事を確認してください。

1.5 定着クリーナの交換方法

本プリンタには専用の定着クリーナ以外は使用できません。必ず下記専用の定着クリーナをご使用ください。
定着クリーナ：N60-TCLN
一度本プリンタ以外に取り付けた定着クリーナは、本プリンタに取り付けても、新品として検出できない為、使用できなくなります。間違えて本プリンタ以外に取り付けないようご注意ください。

定着クリーナは、以下の２通りのいずれかのタイミングになったときに交換してください。

1. 「テイチャククリーナ　コウカン」表示が出たとき

テイチャククリーナ　コウカン

この表示が出てプリンタが停止しているときは、新しい定着クリーナに交換してください。

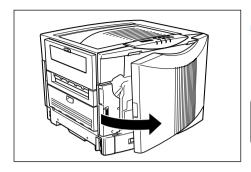
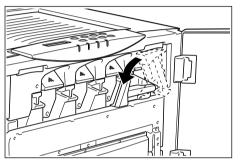
2. 印刷面や裏面が汚れたとき

OHPフィルムや厚紙を多く印刷すると、前記１のタイミングになる前に印刷面や裏面にスジ状や斑点状の汚れが付く場合があります。このときも定着クリーナの交換時期ですので、新しい定着クリーナに交換してください。

定着クリーナを交換しないで印刷し続けると、定着ユニットを破損する恐れがあります。早めに新しい定着クリーナに交換してください。

ポイント
新品同様でも1度プリンタに取り付けた事のある定着クリーナに交換してもエラーは解除されません。また交換時期も延長されませんので、1度取り付けた定着クリーナは最後までご使用ください。

ポイント
定着クリーナ交換後や、厚紙（106g/m² 以上）を印刷した後に薄手の紙（105g/m² 以下）を印刷すると、裏面にトナーの汚れが付着する事があります。このようなときは、最初の1～2枚はA4サイズの普通紙を印刷し、汚れを取り除いてください。

定着ユニットは高温になりますので、定着クリーナの交換はプリンタのシェルを開けたまま、定着ユニットが冷えるのを（約15分程度）待ってから行なってください。

1 フロントカバーを開けます。

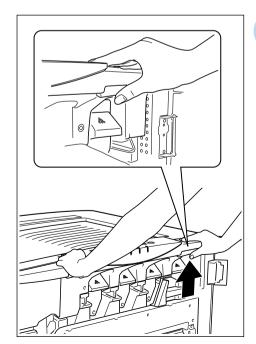
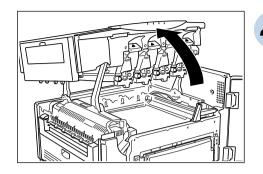
ポイント
印刷中はフロントカバーを開けないでください。

2 ロックレバーを解除（左）側に倒します。

3 シェル解除ボタン（右側の取っ手）を押しながらゆっくり持ち上げます。

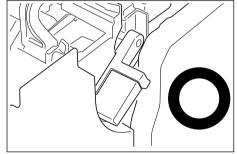
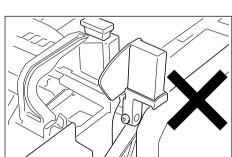
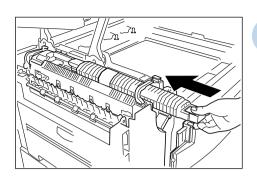
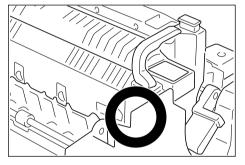
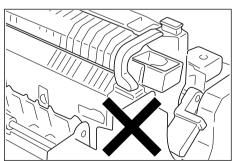
4 シェルをいっぱいに止まるまで開けます。

⚠ 注 意

シェルは最後まで開けてください。途中で止めたり、開けたシェルに手を触れると、シェルが閉じて手などをはさまれ、けがをする恐れがあります。

5 定着クリーナのレバーを引き上げながら手前に引き出して、古い定着クリーナを取り外します。

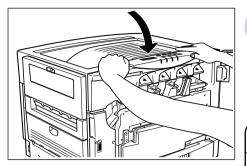
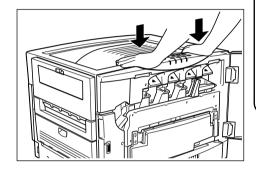
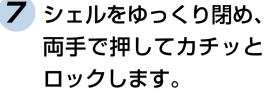
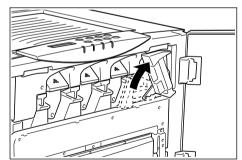
⚠ 注 意

定着クリーナは高温になりますので、必ず図のようにフェルトの部分を持ってください。他の部分に手を触れるとやけどをする事があります。

ポイント

定着ユニットのレバーが解除側（上向き）になっていると定着クリーナが正しく取り付けられません。ロック側（斜め下向き）になっている事を確認してください。

6 新しい定着クリーナを、図のように定着ユニットの溝に沿ってスライドさせながらカチッとロックする位置に取り付けます。

ポイント 定着クリーナが、浮いた状態で取り付けられていないか確認してください。

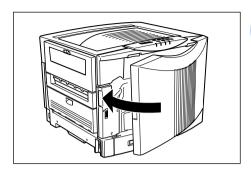
ポイント 定着ユニットの解除レバーが、定着クリーナに当たって解除側（上向き）に回せないときは、定着クリーナが正しく取り付けられていません。もう１度定着クリーナを取り付け直してください。

7 シェルをゆっくり閉め、両手で押してカチッとロックします。

注 意

シェルを閉めるときは、周囲の人の手や物をはさまないよう十分ご注意ください。

8 ロックレバーをロック側（上向き）に起こしてロックします。

注意！ ロックレバーが固いときはもう１度シェルを閉め直してください。

9 フロントカバーを閉めます。

注意!

フロントカバーが閉まらないときは、ロックレバー（手順 *8*）がロック側（上向き）になっている事を確認してください。

ポイント

定着クリーナ交換直後及び、定着クリーナを交換してしばらくは、電源投入直後に印刷された用紙にオイルが付着することがあります。このようなときは、普通紙を数枚印刷するとオイルが付着しなくなります。また、付着したオイルもしばらく放置しておくと、ほとんど目立たなくなります。

2. 用紙の補給

2.1 用紙と給紙方法について

本プリンタは一般にページプリンタ用、乾式コピー機用として販売されている普通紙（上質紙と再生紙）および特殊紙（官製はがき、封筒、ラベル紙、OHP フィルム、厚紙、不定型紙、長尺紙）が下記の給紙方法で使用できます。

給紙装置	用紙の種類（紙種）	用紙サイズ	厚紙（坪量）	容　量
ペーパカセット（本体）	普通紙	A3縦、B4縦、A4横、B5横、A5横、レター横	64～105g/m^2	550枚（高さ50mm以下）
	厚紙	不定形 { 幅　210～297 長さ 148～432*	106～157g/m^2	250枚（高さ40mm以下）
マルチペーパフィーダ	普通紙	A3縦、B4縦、A4横、B5横、A5横*、レター横	64～105g/m^2	100枚（高さ11mm以下）
	厚紙	不定形 { 幅　90～297 長さ 148～432*	106～210g/m^2	50枚（128g/m^{2}にて）
	長尺紙	幅　210～297mm 長さ　433～1200mm	64～210g/m^2	1枚
	官製はがき	100 x 148mm	190g/m^2	30枚（官製ハガキ）
	封筒	長形3号（120 x 235mm）長形4号（90 x 210mm）洋形1号（120 x 176mm）		10枚（指定紙）
	ラベル紙	A4		30枚（指定紙）
	OHPフィルム	A4		50枚（指定紙）

* ペーパカセットの後ろガイドが溝に固定できないサイズは使用できません。

ポイント ページプリンタで快適な印刷を行なうためには、用紙の選定が重要です。お手持ちのコピー用紙をご使用になる前に必ず 付録2. 用紙について（93ページ）をご覧ください。

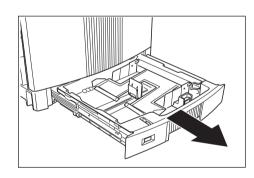
ポイント 上記のサイズや厚さの用紙でも紙質等により紙詰まりが多発したり、画質が低下する事があります。大量の用紙をお買い求めになるときは、事前に十分テスト印刷を行ない、このようなトラブルが発生しない事をご確認ください。

2.2 ペーパカセットからの給紙

ペーパカセットに用紙を補給する方法

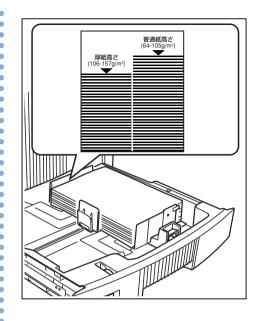
```
ヨウシ　ホキュウ　　Ａ４
　　　　ＣＰＦ１
```

図のような表示でプリンタが停止しているときは、ペーパカセットに用紙を補給してください（図の例は本体カセットにA4サイズの用紙を補給する事を表示しています）。

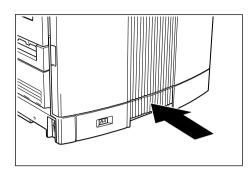
※ 以下の手順は本体カセット（１段目）に用紙を補給する手順ですが、オプションの拡張ペーパフィーダも同様です。

1 ペーパカセットをプリンタから引き出します。

ポイント 印刷中はペーパカセットを引き抜かないでください。

ポイント 通常はペーパカセットをプリンタから取り外さないでください。

ポイント 用紙サイズを変更するときは、「ペーパカセットのサイズ変更方法」(24ページ)を参照してください。

2 用紙をそろえ、印刷する面を下向きにしてカセットに入れます。

ポイント 横ガイドのラベルの▼マークより下になるように、入れすぎた用紙を取り除きます。セットできる用紙の量はカセットの種類や用紙の厚さによって違いますのでご注意ください。

ポイント 用紙の継ぎ足しによる段差ができないように用紙をそろえてください。

3 ペーパカセットをプリンタに奥までゆっくり差し込むと印刷を再開します。

ポイント 勢いよく押し込むと中の用紙がずれて、斜め送りや紙詰まりになる事があります。

他のプリンタや複写機で印刷した用紙はセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になる事があります。

<例> CPF1 に厚紙をセットした場合

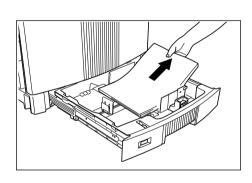
```
F1：カミシュ        CPF1
                   アツガミ
```

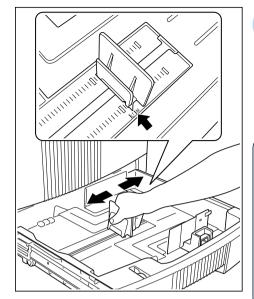
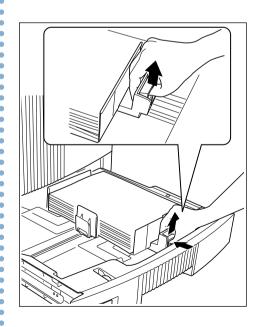
4 厚紙をセットした場合は、操作パネルで、厚紙をセットした給紙口を「アツガミ」に設定してください。

☞リファレンスマニュアル「紙種」（30 ページ）

ペーパカセットのサイズ変更方法

ペーパカセットガイド板を、用紙サイズに合わせて移動させることにより、6種類（A3縦、B4縦、A4横、B5横、A5横、レター横）のサイズに変更できます。

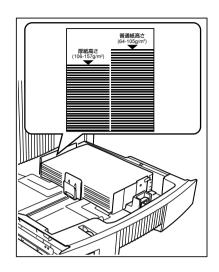
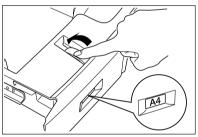
ポイント ペーパカセットのガイド板を正しい位置に固定しないと、用紙サイズを正しく検出できなかったり、紙詰まりが多発することがありますので、以下の手順に従って正しい位置に固定してください。

1 ペーパカセットをプリンタから引き出し、用紙を取り出します。

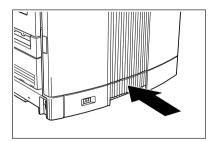
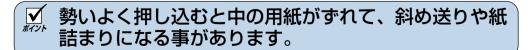
ポイント 印刷中はペーパカセットを引き抜かないでください。

2 後ガイドの固定クリップをつまみながら、使用する用紙サイズの位置に固定します。

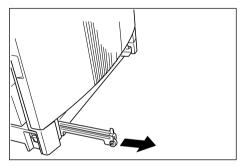
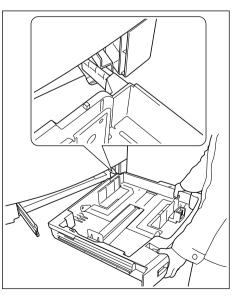
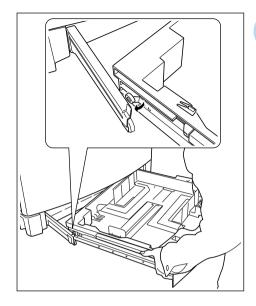
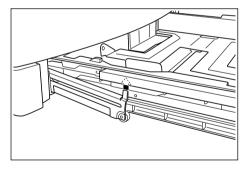
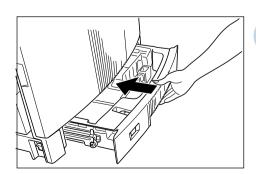
ポイント 固定クリップのツメがカセットの溝に固定されている事を確認してください。

ポイント 特にA4横をセットするときは、レター横の位置と間違いやすいので、注意してセットしてください。

3 用紙をそろえ、印刷する面を下向きにしてカセットに入れ、横ガイドのロックレバーを上に引き上げながら用紙に軽く当たる位置に調整します。

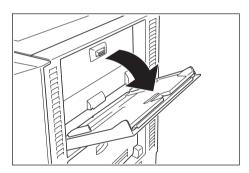
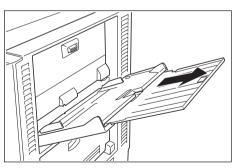
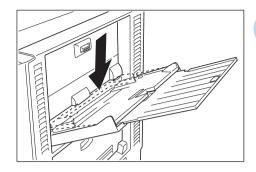
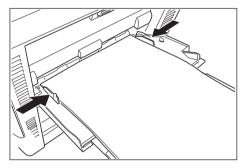
ポイント 横ガイドを用紙に強く押し付けないでください。紙詰まりの原因になることがあります。

4 横ガイドのラベルの▼マークより下になるように、入れすぎた用紙を取り除きます。セットできる用紙の量はカセットの種類や用紙の厚さによって違いますのでご注意ください。

5 セットした用紙サイズに、用紙サイズダイヤルを合わせます。

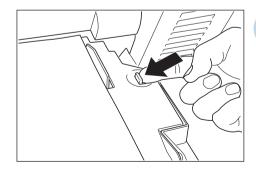
6 ペーパカセットをプリンタに奥までゆっくり差し込みます。

勢いよく押し込むと中の用紙がずれて、斜め送りや紙詰まりになる事があります。

2.3 ペーパカセットの取り付け

通常の使用方法ではペーパカセットをプリンタから取り外す事はありませんが、取り外してしまったときは以下の手順で取り付けてください。

1 プリンタ左側のレールを引き出します。

2 カセットを右に少し傾けて右側の穴にペーパカセットのコロ（白）を10cm 程度差し込みます。

3 カセット左側のコロ（白）をレールの溝に入れます。

4 レールの突起をカセットのガイド板の内側に入れます。

5 ペーパカセットを奥までゆっくり差し込みます。

2.4 マルチペーパフィーダ(MPF)からの給紙

```
ヨウシ　ホキュウ　　　A 3
MPF
```

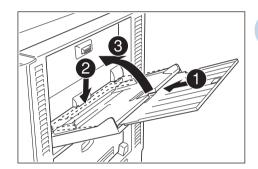
図のような表示でプリンタが停止しているときは、マルチペーパフィーダに用紙を補給してください(図の例はマルチペーパフィーダにA3サイズの用紙を補給する事を表示しています)。

1 マルチペーパフィーダを開けます。

2 大きいサイズの用紙を使用するときは、補助トレイを引き出します。

3 底板が上がっているときは押し下げてロックします。

4 印刷する面を上向きに用紙をセットし、横ガイドを用紙に軽く当たる位置に調整します。

ポイント　横ガイドと用紙の間にすき間があると、斜め送りや紙詰まりの原因になります。

5 セットレバーを左に押して底板のロックを解除すると印刷を再開します。

他のプリンタや複写機で印刷した用紙はセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になる事があります。

ポイント
プリンタドライバで、セットした用紙サイズと紙種を設定し、給紙口をMPFにし、特殊紙の場合は排紙口をアッパートレイ（フェイスアップ）にして印刷してください。用紙サイズや紙種の設定が異なると、正しく印刷されない場合があります。

アプリケーションソフトの「ファイル」→「印刷」画面で「SPEEDIA N6000」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックし、「給排紙」タブ画面を表示。（アプリケーションソフトにより一部異なる場合があります。）

ポイント
OHPフィルム、ラベル紙、封筒などの、複数の紙が付着しやすい用紙は、よくさばいてからセットしてください。
そのほかにも特殊紙に印刷するときは、ご注意が必要です。☞ 2.5 特殊紙の印刷方法（29ページ）

6 印刷が終わったら、補助トレイを押し込み（① →）、底板を押し下げてから（② →）、マルチページフィーダを閉めます（③ →）。

ポイント
底板を押し下げないとマルチページフィーダを閉める事ができません。

2.5 特殊紙の印刷方法

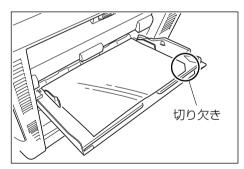
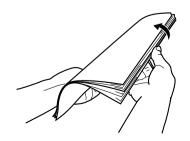
特殊紙に印刷するときは、マルチペーパフィーダから☞(27ページ)フェイスアップ排紙（アッパー排紙部）☞(38ページ)で印刷してください。

☑ポイント 特殊紙の印刷品質は普通紙より悪くなる事があります。紙詰まりや白抜けも発生しやすくなります。本プリンタに適さない特殊紙も多くありますので、弊社推奨紙のご使用をおすすめします。**☞ 付録2. 用紙について(93ページ)**

☑ポイント 用紙を大量に購入するときは、必ず事前に印刷テストを行ない、本プリンタに使用できるかご確認ください。

☑ポイント 特殊紙には両面印刷はできませんのでご注意ください。

OHP フィルム

- カシオ製のOHPフィルム（N-OHPS）をご使用ください。その他の OHP フィルムを使用すると、定着器に巻き付くなど故障の原因になります。
- OHP フィルムはマルチペーパフィーダから印刷できますが、その他の給紙装置からは印刷できません。
- OHP フィルムには裏／表がありますので、角が欠けている部分を図の向きにセットして表面に印刷してください。

- OHPフィルムは図のように数回さばき、OHPの貼り付きを完全になくしてからセットしてください。

● OHPフィルムに印刷するときは「紙種」を「OHP」モードに設定してください。（OHPモードの印刷速度は6枚／分（カラー）になります）

アプリケーションソフトの「ファイル」→「印刷」画面で「SPEEDIA N6000 」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックし、「給排紙」タブ画面を表示。（アプリケーションソフトにより一部異なる場合があります。）

● 印刷後のOHPフィルムを重ねると貼り付くことがあります。このようなときは、「セパレータの挿入」をチェックし「セパレータの設定」ボタンを押して「1ページごとにセパレータを挿入する」をチェックして印刷してください。

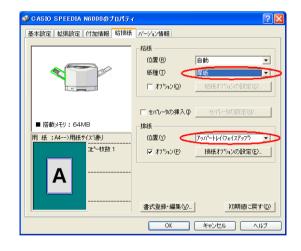
ラベル紙

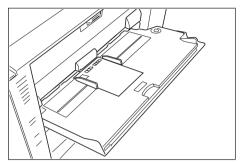
● ラベル紙はカールしていない物をご使用ください。
紙詰まりの原因になります。

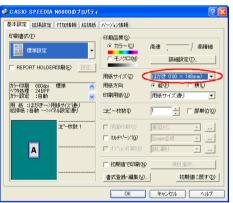
● ラベル紙もOHPフィルムと同様にさばいてからセットしてください。

● ラベル紙に印刷するときは「厚紙」モードで印刷してください。

厚紙

● 106～157g/m²以上の厚紙に印刷するときは「紙種」を「厚紙」モードに、158～210g/m²の厚紙に印刷するときは「ごく厚紙」モードに設定してください。「普通紙」モードのまま印刷すると、白地の部分が汚れたり、指でこすると印刷がかすれる事があります。また「排紙」の「位置」を「アッパートレイ（フェイスアップ）」にすると、カールが少なくなる場合があります。

アプリケーションソフトの「ファイル」→「印刷」画面で「SPEEDIA N6000 」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックし、「給排紙」タブ画面を表示。（アプリケーションソフトにより一部異なる場合があります。）

ポイント
カラー印刷時に、ご使用になる用紙の紙質や印字率などによっては、 106～157g/m²の厚紙を「厚紙」モードで印刷すると印刷画像を指でこすると剥がれることがあります。このようなときは、「ごく厚紙」モードに設定してください。

官製はがき

1 官製はがきに印刷するときは図の向きにセットします。

2 「用紙サイズ」を「はがき(100×148mm)」に設定します。

アプリケーションソフトの「ファイル」→「印刷」画面で「SPEEDIA N6000」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックし、「基本設定」タブ画面を表示。(アプリケーションソフトにより一部異なる場合があります。)

3 「給排紙」タブ画面で「紙種」を「封筒・はがき」モードに設定してください。

- 往復はがきは中央に折り目が入っていない物をご使用ください。
- 往復はがきに印刷するときは、アプリケーションソフトで、200×148mmを指定し、プリンタドライバ側の用紙サイズで「往復はがき(200×148mm)」を指定してください。また、プリンタには往復はがきを横送りにセットしてください。但し、アプリケーションソフトによっては、プリンタドライバ側で往復はがきの用紙(148×200mm)を作成する必要があります。
- 官製ハガキに印刷する前に同じサイズの用紙で試し印刷して、印刷位置などを確認してください。

印刷できるのは普通紙の官製はがきです。印刷できないはがきは以下のとおりです。

- **私製はがき**
- **絵はがきなどの厚いはがき**
- **年賀状やかもめーるなどの再生紙のはがき**
- **絵入りはがきなど裏映り防止用の粉がついているはがき**
- **インクジェットプリンタ専用のはがき**
- **一度印刷したはがき**
- **表面加工されたはがき**
- **表面に凹凸があるはがき**

※ はがきがマルチペーパフィーダから送り込まれずに、紙詰まりになるときは、給紙ロールを清掃してください。

封筒

1 封筒に印刷するときは、表面(宛名を印刷する面)を上にして、図の向きにセットします。

裏面に印刷すると紙詰まりになる事があります。

<長形3号、長形4号のセット方向>

<洋形1号のセット方向>

2 「用紙サイズ」を「封筒ー○○○号<横置き>」に設定します。

(○○○部分は使用する封筒のサイズを選んでください。)

アプリケーションソフトの「ファイル」→「印刷」画面で「SPEEDIA N6000」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックし、「基本設定」タブ画面を表示。(アプリケーションソフトにより一部異なる場合があります。)

3 「給排紙」タブ画面で「紙種」を「封筒・はがき」モードに設定してください。

※ 印刷した封筒がシワになるときは「封筒2」モードに設定すると改善する場合があります。

注意! 以下のような封筒は使用しないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

- 開封口にのりが付いている封筒
- 窓付き、留め金付き、ファスナー付きなどの封筒
- 箔押し、エンボスなどの表面加工された封筒
- 大きく反った封筒
- 二重(内張りがある)封筒

ポイント フィニッシャ装置をご使用の場合は、封筒横置きでの印刷はできません。封筒縦置きで印刷するか、以下の手順でフィニッシャ装置を取り外してからフェイスアップ排紙トレイで印刷してください。

① フィニッシャ装置をプリンタから切り離し、プリンタにフェイスアップ排紙トレイを取り付けます。

② プリンタの電源スイッチをOFFにし、フィニッシャ装置の電源コードを抜いてから、プリンタの電源スイッチをONにします。

③ プリンタドライバの「環境設定」タブ画面で、「フィニッシャ装置」を削除します。

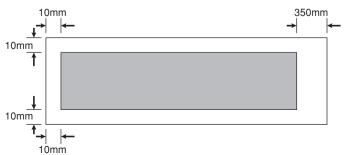
長尺紙

● 使用できる長尺紙は最大297 × 1200mmで、厚さ64～210g/m²です。

● 裁断が直角でなかったり、裁断面にバリがある用紙は使用できません。

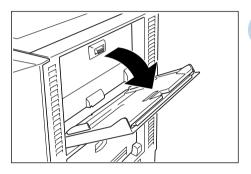
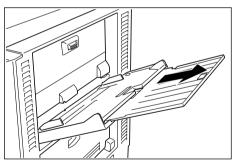
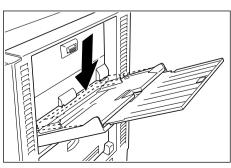
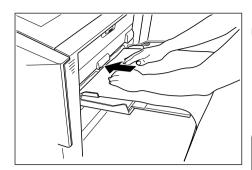
● アプリケーションソフトが、ご使用になる長尺紙の用紙サイズ（任意の用紙サイズ）を設定できない場合は、長尺紙の印刷はできません。また、アプリケーションソフトによっては任意の用紙サイズが設定できても正しく印刷できない場合があります。

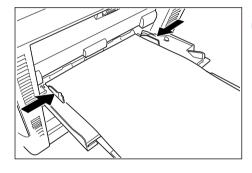
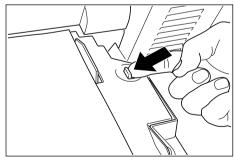
● 長尺紙の印刷は大量のデータを処理するため、プリンタの標準メモリ（64MB）では不足になり、印刷が極端に遅くなったり、印刷できない場合があります。
プリンタドライバの書式の選択で画面プレビュー優先 ☞プリンタドライバマニュアル（17ページ）に設定すると改善される場合があります。
前記設定の変更でも改善されない場合は、メモリを追加すると改善される場合があります。

● 長尺紙は用紙ズレが発生しやすいため、用紙端からの余白を十分（先端と左右を10mm以上、後端を350mm以上）とって印刷してください。後端から350mmは画像保証の対象外です。

● 印字率が高い（ベタ部分が多い）画像を印刷するとトナーの供給が追いつかず、途中から印刷がかすれる事があります。このようなときはベタ部分を網かけにしたり、色をうすくして印字率を低くして印刷してください。

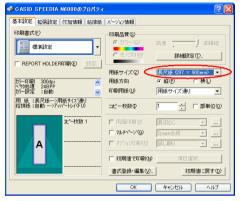
トナーが少ない状態で印字率が高い画像を印刷すると印刷がかすれる事があります。そのまま印刷を続けるとドラムが劣化し、ドラムセットを交換しないと画質が回復しなくなる事があります。印字率が高い画像を連続して印刷するときは、新しいトナーセットに交換して印刷する事をおすすめします。

長尺紙の印刷手順

最初はわずかな斜め送りでも、用紙の後半になるほど大きくずれて、紙詰まりになる事があります。まっすぐに印刷する事に気をつけて以下の手順で印刷してください。

1 マルチペーパフィーダを開けます。

2 補助トレイを引き出します。

3 底板が上がっているときは押し下げてロックします。

4 印刷する面を上向きにして、長尺紙を1枚セットします。

> ☑ ポイント
> 紙の先端がマルチペーパフィーダの壁に水平に当たるように注意してください。

5 左右の用紙ガイドが長尺紙にピッタリと当たる位置に調整します。

6 セットレバーを左に押して底板のロックを解除し長尺紙を固定します。

> ☑ ポイント
> 複数枚印刷するときは、手順*2*～*5*を繰り返して、1枚ずつ印刷してください。複数枚の長尺紙をまとめてセットする事はできません。

プリンタドライバで、セットした用紙サイズと紙種を設定し、給紙口をMPFにして印刷してください。

7 「用紙サイズ」を長尺紙(297 x 900mm)」に設定します。

アプリケーションソフトの「ファイル」→「印刷」画面で「SPEEDIA N6000」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックし、「基本設定」タブ画面を表示。(アプリケーションソフトにより一部異なる場合があります。)

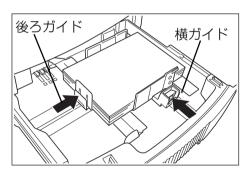
8 「給排紙」タブ画面で「給紙」の「位置」を「MPF」、「紙種」を「普通紙」(105g/m^2 以下)または「厚紙」(106～157g/m^2)または「ごく厚紙」(158g/m^2 以上)に設定してください。

不定形サイズの用紙

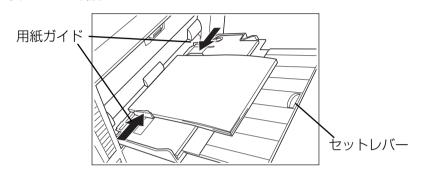
ここで説明する不定形サイズの用紙とは、長さが432mm以下の用紙です。432mmより長い長尺紙の印刷方法は☞「長尺紙」(33ページ)をご覧ください。

1 不定形サイズの用紙をペーパカセットまたは、マルチペーパフィーダにセットします。

<ペーパカセットの場合>

ペーパカセットに用紙をセットし、後ろガイドと横ガイドを用紙にピッタリと当たる位置に固定します。

- ポイント 後ろガイドがペーパカセットの溝に固定できないサイズの用紙は印刷できません。
- ポイント 後ろガイドや横ガイドと用紙の間に隙間が空かないように固定してください
斜め送りや紙詰まりの原因になります。

<マルチペーパフィーダの場合>

マルチペーパフィーダに用紙をセットし、左右の用紙ガイドを用紙用紙にピッタリと当たる位置に調整し、セットレバーを左に押して底板を上げます。

> **ポイント**
> **用紙ガイドと用紙の間に隙間が空かないように固定してください。**
> **斜め送りや紙詰まりの原因になります。**

2 操作パネルで不定形を設定します。

<例> CPF1(本体カセット)の場合

BB　カセットモード　　　　ＣＰＦ１ ＊フテイケイ

操作パネルで不定形サイズの用紙をセットしたカセットを「フテイケイ」に設定します。

☞リファレンスマニュアル「カセットモード」(22 ページ)

<例> MPF(マルチペーパフィーダ)の場合

Ｂ４　MPF　ヨウシサイズ フリー

操作パネルを MPF 用紙サイズを「フリー」に設定します。

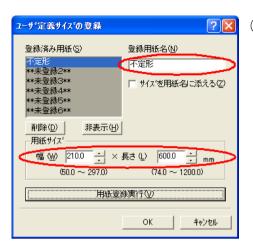
☞リファレンスマニュアル「B4:MPF 用紙サイズ」(20 ページ)

3 プリンタドライバでユーザ定義サイズを登録します。

不定形用紙に印刷するときは、[ユーザ定義サイズの登録] ダイアログボックスで不定形サイズを設定する必要があります。

> **ポイント**
> **ここではWindowsXPのワードパッドを例に説明します。OS やアプリケーションによって設定方法は異なります。また、OS やアプリケーションによっては不定形サイズがサポートされていないものがあります。各OSやアプリケーションのマニュアルをご覧ください。**

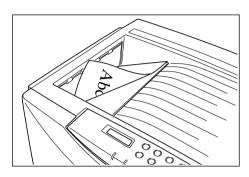
① プリンタドライバの「拡張設定」タブ画面の「ユーザー定義用紙サイズの登録」ボタンを押します。

アプリケーションソフトの「ファイル」→「印刷」画面で「SPEEDIA N6000 」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックし、「拡張設定」タブ画面を表示。(アプリケーションソフトにより一部異なる場合があります。)

②登録用紙名（例：不定形）とプリンタにセットした用紙サイズを入力し、「用紙登録実行」をクリックして「OK」をクリックします。

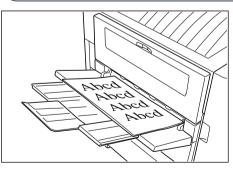
③「給排紙」タブをクリックして「給紙」の「位置」に用紙をセットした給紙口を選んで「OK」をクリックします。

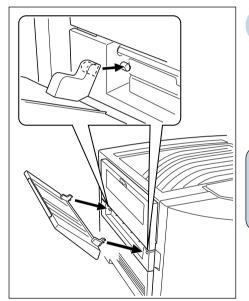
④「OK」をクリックすると印刷を開始します。

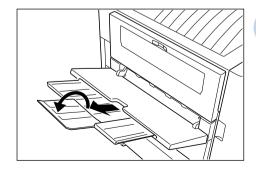
3. 排紙口の切り替え

3.1 フェイスダウン排紙（メイン排紙部）

印刷された面を下向きにして、プリンタの上に排紙されます。
普通紙を使用する通常の印刷はこの方法で印刷してください。

ポイント 印刷した用紙のカールが気になるときは、フェイスアップ排紙で印刷すると改善する事があります。

3.2 フェイスアップ排紙（アッパー排紙部）

印刷された面を上向きにして、プリンタ左側面から排紙されます。
厚紙(105～210g/m^2)、ハガキ、ラベル紙、OHPフィルム、封筒などの特殊紙を使用するときはこの方法で印刷してください。

ポイント 特にOHPフィルムをフェイスダウンで印刷しないでください。
カールによりOHPフィルムが浮き上がり、投影できなくなる事があります。

1 アッパー排紙トレイをフェイスアップ排紙口両側の突起部に、斜め上から差し込みます。

ポイント 水平や垂直方向には着脱できません。約60°の角度で着脱してください。

2 大きいサイズの用紙を使用するときは、補助トレイを引き出します。

3.3 排紙口の指定方法

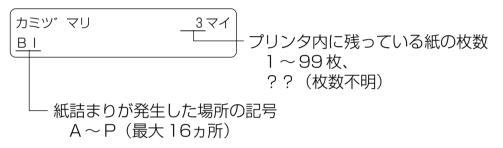
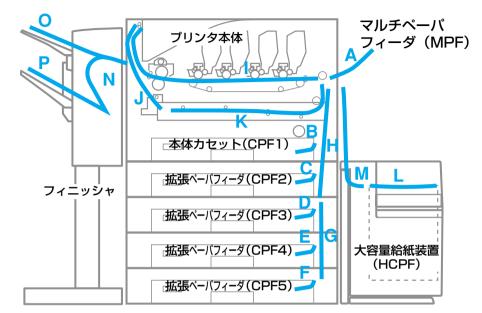
プリンタドライバの給排紙画面の「排紙位置」で指定します。

アプリケーションソフトの「ファイル」→「印刷」画面で「SPEEDIA N6000 」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックし、「給排紙」タブ画面を表示。（アプリケーションソフトにより一部異なる場合があります。）

4. 紙詰まりの処置

4.1 紙詰まりの場所と枚数

表示パネルに紙詰まりが発生した場所と、プリンタ内に残っている紙の枚数を次のように表示します。

（表示例）

場所記号	紙詰まりが発生した場所	
A	マルチペーパフィーダ給紙部	
B	1段目カセット給紙部（本体）	
C	2段目カセット給紙部（拡張ペーパフィーダ）	
D	3段目カセット給紙部（拡張ペーパフィーダ）	
E	4段目カセット給紙部（拡張ペーパフィーダ）	
F	5段目カセット給紙部（拡張ペーパフィーダ）	
G	給紙ガイド部（拡張ペーパフィーダ）	
H	給紙ガイド部（本体ライトカバー）	
I	用紙搬送部→定着部	
J	排紙ターンガイド部（両面印刷中）	
K	両面印刷ユニット内部	
L	大容量給紙装置内部	大容量給紙装置に同梱の取扱説明書をご覧ください。
M	大容量給紙装置連結部	
N	フィニッシャ連結部	フィニッシャに同梱の取扱説明書をご覧ください。
O	アッパートレイ	
P	ロアトレイ	

用紙が詰まった場所（A～P）と枚数を確認し、以降の方法で全ての用紙を取り除いてください。

ポイント

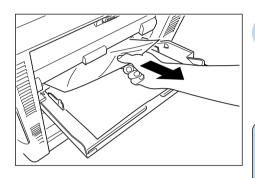
紙詰まり処置後に印刷された用紙は、表面や裏面に汚れが付着することがあります。数枚印刷すると汚れは消えます。特に定着ユニットに詰まった用紙を排紙口側から引き抜くと、汚れがひどくなりますのでご注意ください。☞(46ページ手順8)

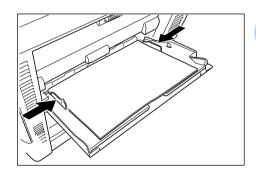
注意！

プリンタ内に詰まっている全ての用紙を取り除いてからフロントカバーを閉めてください。場所によってはプリンタ内部に用紙を巻き込んで取れなくなる恐れがあります。用紙が取り除けなくなってしまったときは、プリンタの電源スイッチを切り、カシオテクノ・コールセンター☞(89ページ)**にご連絡ください。**

4.2 マルチペーパフィーダの紙詰まり（カミヅマリA）

（表示例）

カミヅ゛マリ	1マイ
A	

1 **マルチペーパフィーダに詰まっている用紙を取り除きます。**

> ポイント **用紙が奥まで入って取りにくいときはプリンタ内部から取り除いてください。**
> ☞ 4.5 プリンタ本体の紙詰まり（44ページ）

2 **残りの用紙をセットし直します。**

☞ 2.4 マルチペーパフィーダ(MPF)からの給紙(27ページ)

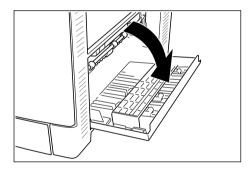
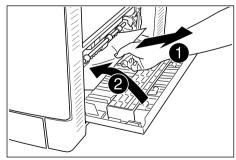
> ポイント **紙詰まりのエラーは、詰まった用紙を取り除いた後、フロントカバーを開閉すると解除します。**

詰まった用紙が見つからないときは、次へ進んでください。

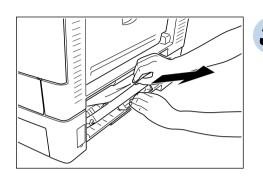
4.3 給紙ガイド内の紙詰まり（カミヅマリG, H）

（表示例）

カミヅ゛マリ	1マイ
H	

給紙ガイド内に詰まっている用紙を取り除きます。
図の表示例（カミヅマリH）は本体右側面の給紙ガイド内に用紙が詰まっている事を表示しています。

1 **本体右側面の給紙ガイド（ライトカバー）を開けます。**

2 **詰まっている用紙を取り除き、給紙ガイド（ライトカバー）を確実に閉めます。**

> ポイント **詰まっている用紙が破れて、プリンタ内部に残らないように注意して引き出してください。**

オプションの拡張ペーパフィーダの給紙ガイド内に詰まっているときは、カミヅマリ G と表示されます。

3 オプションの拡張ペーパフィーダ右側面の給紙ガイド部を開け、詰まっている用紙を取り除き、給紙ガイドを閉めます。

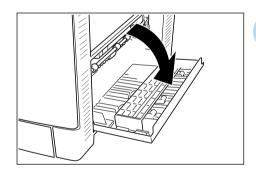
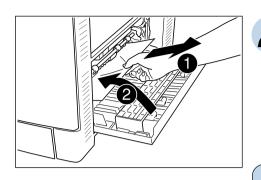
全ての段の給紙ガイドを確認してください。
紙詰まりのエラーは、詰まった用紙を取り除いた後、フロントカバーを開閉すると解除します。

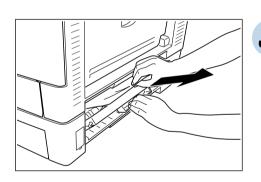
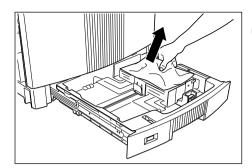
詰まった用紙が見つからないときは、次へ進んでください。

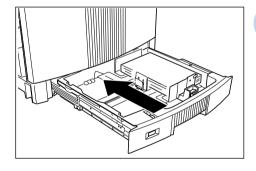
4.4 カセット内の紙詰まり(カミヅマリB, C, D, E, F)

(表示例)

```
カミヅ゛マリ          1マイ
B
```

ペーパカセット内に詰まっている用紙を取り除きます。
図の表示例(カミヅマリ B)は本体標準のカセット内に用紙が詰まっている事を表示しています。オプションの拡張ペーパフィーダご使用のとき(上段から順にカミヅマリC、D、E、F)も同様にカセット内に詰まった紙を取り除いてください。

1 本体右側面の給紙ガイド(ライトカバー)を開けます。

2 詰まっている用紙を取り除き、給紙ガイド（ライトカバー）を確実に閉めます。

> ポイント 詰まっている用紙が破れて、プリンタ内部に残らないように注意して引き出してください。

3 オプションの拡張ペーパフィーダ右側面の給紙ガイド部を開け、詰まっている用紙を取り除き、給紙ガイドを閉めます。

4 カセットをゆっくり引き出し、詰まっている用紙（シワになっている用紙）を取り除きます。

> ポイント 詰まっている用紙が破れて、プリンタ内部に残らないように注意して引き出してください。

5 残りの用紙をセットし直し、カセットを奥までゆっくりと差し込みます。

☞ 2.2 ペーパカセットからの給紙（22ページ）

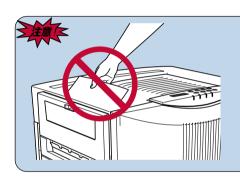
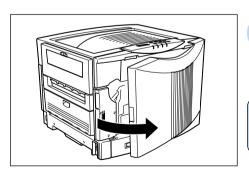
> ポイント 紙詰まりのエラーは、詰まった用紙を取り除いた後、フロントカバーを開閉すると解除します。

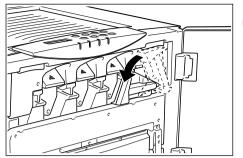
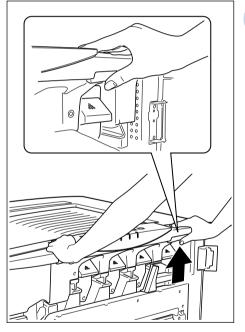
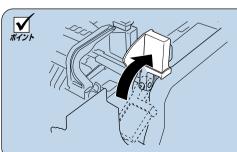
詰まった用紙が見つからないときは、次へ進んでください。

4.5 プリンタ本体の紙詰まり(カミヅマリI,J)

(表示例)

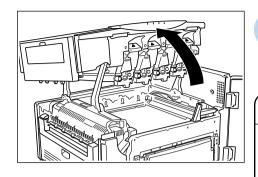
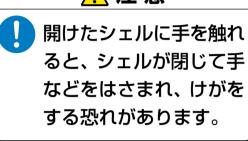
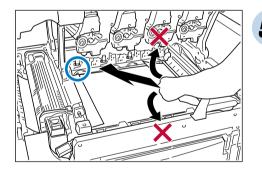
```
カミヅ゛ マリ            3マイ
I
```

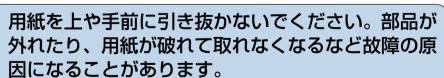
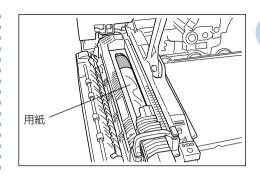
プリンタ本体の用紙搬送部から定着部に詰まっている用紙を取り除きます。

排紙口に途中まで印刷して止まっている用紙は、無理に引き抜かないでください。定着ユニットにはさまっていると思われるときは、以下の手順に従って取り除いてください。

1 フロントカバーを開けます。

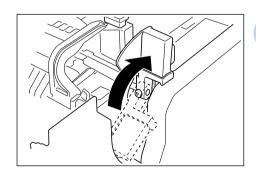
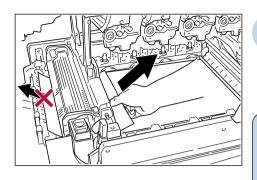
ポイント 印刷中はフロントカバーを開けないでください。

2 ロックレバーを解除(左)側に倒します。

3 シェル解除ボタン(右側の取っ手)を押しながらゆっくり持ち上げます。

ポイント 定着ユニットにはさまった用紙が引っかかってシェルを開けにくいときは、定着ユニットの解除レバーを矢印の向きにまわしながら開けてください。

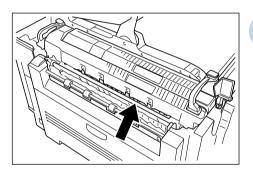
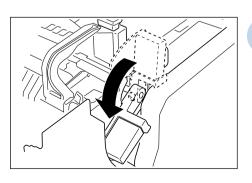
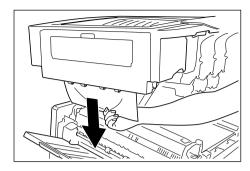
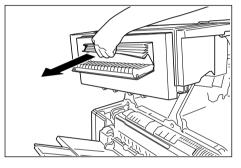
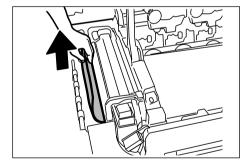
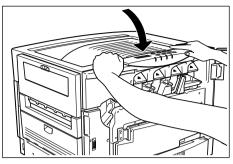
4 シェルをいっぱいに止まるまで開けます。

注 意

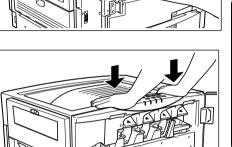
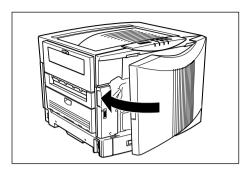
開けたシェルに手を触れると、シェルが閉じて手などをはさまれ、けがをする恐れがあります。

5 転写ベルト上の用紙をベルトに沿ってまっすぐ引き抜きます。

用紙を上や手前に引き抜かないでください。部品が外れたり、用紙が破れて取れなくなるなど故障の原因になることがあります。

転写ベルトに張り付いている用紙を先のとがった物ではがさないでください。転写ベルトの傷によっては交換が必要になる場合があります。

6 定着クリーナを取り外し、内部に用紙が巻き付いていないか確認してから、定着クリーナを元に戻します。

定着ユニットの内部に用紙が巻き付いているときは、☞「4.8 定着ユニット内部の紙詰まり」(50ページ)を参照して詰まった用紙を取り除いてください。

7 定着ユニットの解除レバーを矢印の向きにまわして、用紙をはさんでいる力を解除します。

8 定着ユニットにはさまっている用紙を、矢印の向きに引き抜きます。

> ポイント
> 排紙口側に引き抜かないでください。排紙口側に引き抜くと、印刷再開後の用紙の表面や裏面に汚れが付着することがあります。

9 用紙が定着ユニットの中に入って取れないときは、「4.8 定着ユニット内部の紙詰まり」(50ページ)を参照して詰まった用紙を取り除いてください。

10 定着ユニットの解除レバーを元の位置（ロック側）にまわします。

11 シェル側から用紙が下がっているときは引き抜きます。

12 図の排紙カバーを開けて、用紙が詰まっているときは取り除き、排紙カバーを閉めます。

13 両面印刷ユニットの入り口に入りかけて止まっている用紙を引き抜きます。
（カミヅマリＪのみ）

14 シェルをゆっくり閉め、両手で押してカチッとロックします。

注 意

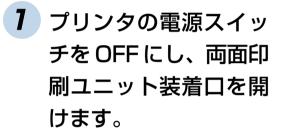
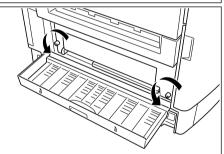
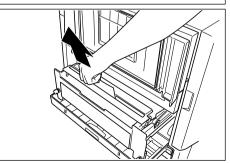
シェルを閉めるときは、周囲の人の手や物をはさまないよう十分ご注意ください。

15 ロックレバーをロック側（上向き）に起こしてロックします。

16 フロントカバーを閉めます。

ポイント 紙詰まりのエラーは、詰まった用紙を取り除いた後、フロントカバーを開閉すると解除します。

詰まった用紙が見つからないときは、次へ進んでください。

4.6 両面印刷ユニット入り口の紙詰まり(カミヅマリJ)の特例

A5サイズ等の小さな用紙に両面印刷しているときに、両面印刷ユニットの入り口付近に詰まっている用紙が取り除けない場合があります。このようなときは、プリンタの左側面から両面印刷ユニットを取り外して、詰まっている用紙を取り除いてください。

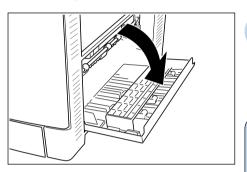
1 プリンタの電源スイッチをOFFにし、両面印刷ユニット装着口を開けます。

2 図のネジ2本をゆるめます。

3 両面印刷ユニットを少し引き出し、入り口付近に詰まっている用紙を取り除きます。

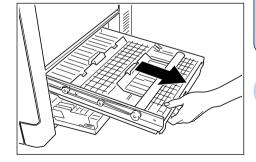
※ 逆の手順で両面印刷ユニットを取り付けます。詳しくは ☞ 5.3 両面印刷ユニットの取り付け(56ページ)を参照してください。

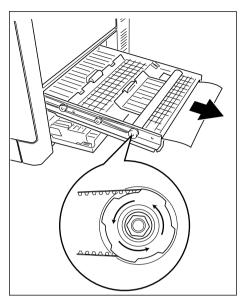
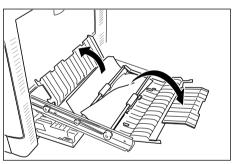
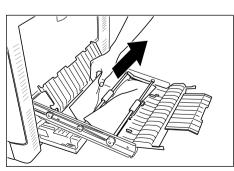
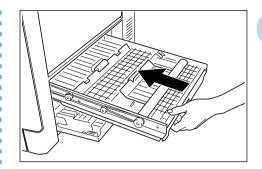
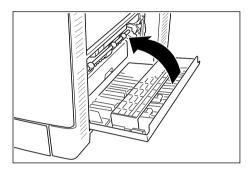
4.7 両面印刷ユニットの紙詰まり(カミヅマリK)

(表示例)

```
カミツ゛ マリ        2マイ
K
```

両面印刷ユニットの内部に詰まっている用紙を取り除きます。

1 本体右側面の給紙ガイド部(ライトカバー)を開けます。

> **ポイント** 給紙ガイドに紙がひっかかって開かないときは、両面印刷ユニットを取り外すと開きます。
> ☞「4.6 両面印刷ユニット入り口の紙詰まり(カミヅマリJ)の特例」(本ページ左面)

2 両面印刷ユニットを水平にゆっくり引き出します。

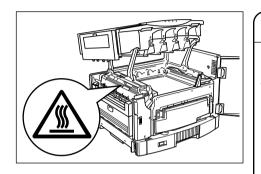
> **注意!** 引き出した状態で両面印刷ユニットの上から力を加えないでください。無理な力を加えると故障の原因になる事があります。

3 図の紙送りダイヤルを左回りに回して、詰まった用紙を送り出します。

4 紙送りダイヤルを回しても用紙が送り出されないときは、図のフタを開けます。

5 中の用紙を取り除きます。

6 両面印刷ユニットのフタを閉め、奥に突き当たるまで水平にゆっくり差し込みます。

7 給紙ガイド（ライトカバー）を確実に閉めます。

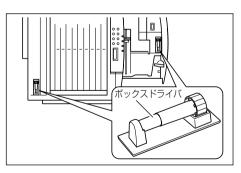
ポイント 紙詰まりのエラーは、詰まった用紙を取り除いた後、フロントカバーを開閉すると解除します。

オプションの給紙装置や排紙装置をご使用のときは、オプション装置の取扱説明書をご覧いただき、内部に詰まっている用紙を取り除いてください。

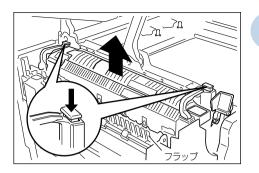
ポイント 詰まった用紙を取り除いてもエラーが解除されない場合は、プリンタ内にまだ用紙が残っている可能性があります。再度、「4.2」項から確認し、どうしても見つからない場合は、カシオテクノ・コールセンター☞（89 ページ）にご連絡ください。

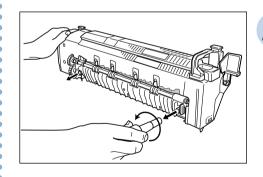
4.8 定着ユニット内部の紙詰まり

定着ユニットの中に用紙が詰まって取り除けないときは、以下の手順で定着ユニットを取り外して用紙を取り除きます、

注 意

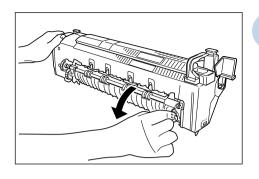
定着ユニットは高温になっています。定着ユニットの脱着は、シェルを開けたまま定着ユニットが冷えるのを(約15分程度)待ってから行なってください。やけどの原因になります。

定着ユニットを開けるときは、図のようなボックスドライバを使用します。

プリンタ設置時には、本体カセット内部またはプリンタ本体上面のホルダに保管されています。

ボックスドライバが無い場合はマイナスのドライバでも代用できます。

1 定着ユニット左右の取っ手を持ち、左右の取っ手に付いているロック解除ボタンを押しながら定着ユニットを取り外します。

注意! 定着ユニットの装着場所が狭いため、脱着の際に定着ユニットを周囲の部品にぶつけて破損しないようご注意ください。特に図のフラップ部分にひっかけて破損しないようご注意ください。

2 ボックスドライバで定着ユニットのカバーを固定しているネジ2本を緩めます。

注 意

固定ネジや周囲の金属部品は特に高温になっています。手を触れないようにご注意ください。やけどの原因になります。

3 つまみを持って、定着ユニットのカバーを開けます。

注 意

固定ネジや周囲の金属部品は特に高温になっています。手を触れないようにご注意ください。やけどの原因になります。

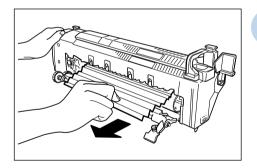
4 内部に詰まっている用紙を取り除きます。

注 意

定着のヒートロール(オレンジ色)は高温になっています。手を触れないようにご注意ください。やけどの原因になります。先のとがった物を使用してヒートロールに傷をつけないようご注意ください。

5 定着ユニットのカバーを閉め、ボックスドライバでネジ２本を締めて固定します。

6 定着ユニット左右の取っ手を持ってプリンタに取り付けます。

ポイント

定着ユニットが確実にロックされているか、取っ手を持ち上げて確認してください。

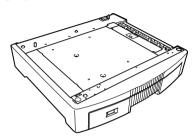
注意！

定着ユニットの装着場所が狭いため、脱着の際に定着ユニットを周囲の部品にぶつけて破損しないようご注意ください。特に図のフラップ部分にぶつけて破損しないようご注意ください。

7 以上で定着ユニット内部の紙詰まりの処置は完了です。シェルを閉めてロックし、フロントカバーを閉めると、ウォームアップ後に詰まった用紙から印刷を再開します。「カミヅマリ　テイチャクキ」のときは取消 ボタンを押してエラー表示を解除してください。

5. オプションについて

5.1 オプションの紹介

●拡張ペーパフィーダ

プリンタの下に取り付ける事により、プリンタ本体のカセット給紙も含み、最大5段までカセット給紙ができるようになります。A3ユニバーサルカセット付きです。

N50-CPF

64～157g/m²の普通紙用です。

※ N50-CPFは、N5000、N6000シリーズ専用です。N5シリーズには使用できません。

☞ 5.2 拡張ペーパフィーダの取り付け（54ページ）

●拡張給紙ユニット

拡張ペーパフィーダとキャスターのセットです。

N50-CPF1C

拡張ペーパフィーダ1台とキャスタのセットです。

N50-CPF2C-P

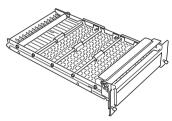
拡張ペーパフィーダ2台とキャスタのセットです。

※ N50-CPF1CとN50-CPF2C-Pは、N5000、N6000シリーズ専用です。N5シリーズには使用できません。

●大容量給紙装置 -------------- N50-HCPF

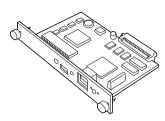
A4サイズの普通紙（厚さ64～104.7g/m²）を約3,000枚（64g/m²にて）給紙できるようになります。

※ N5000、N6000シリーズ、N5シリーズのどれにでも使用できますが、N５０００、N6000シリーズに取り付ける為には、オプション接続キット(N50-OPCN)が必要です。

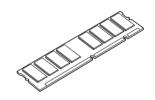
●両面印刷ユニット ----------- N50-RIS

用紙の両面に印刷するための装置です。

※ N5000、N6000シリーズ、N5シリーズのどれにでも使用できます。

☞ 5.3 両面印刷ユニットの取り付け（56ページ）

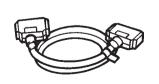
● LANI/F ボード-------------- CP-NW110、CP-NW200T

プリンタに取り付ける事により、イーサネットに接続して、LANのプリンタとして共用できるようになります。
対応プロトコル:TCP/IP, IPX/SPX（CP-NW110のみ）, SNMP, DHCP, BOOTP, RARP, HTTPD

☞ 5.4 インターフェイスボードの取り付け（57ページ）

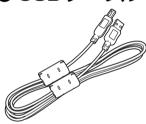
●増設メモリモジュール

プリンタのシステムメモリを拡張できます。
64Mバイト..........CP-SDR64M
128Mバイト.......CP-SDR128M

※ 市販のDIMMは使用できません。必ずプリンタ専用のDIMMをご使用ください。

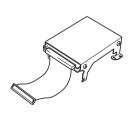
☞ 5.5 増設メモリモジュールの取り付け（58ページ）

●プリンタケーブル----------- CP-CA554

パソコンとプリンタを接続するパラレルケーブルです。
IEEE1284規格のDOS/Vパソコン用です。

※ 本プリンタはECP（Extended Capabilities Port）モードをサポートしていますが、ECPで使用するときはカシオCP-CA554（DOS/V機用）プリンタケーブルをご使用ください。また、パソコン側にもECPモードをサポートしている必要があります。
※ 市販のプリンタケーブルをご使用になるときは、必ずケーブルとコネクタがシールドされているものをご使用ください。シールドされていないものを使用すると電波障害の原因になる事があります。

● USBケーブル--------------- CP-CAUSB

パソコンとプリンタを接続するUSBケーブルです。
USB1.1,USB2.0に対応しています。

※ 市販のUSBケーブルをご使用になるときは、USB1.1またはUSB2.0ツイストペア、シールドタイプのケーブルをご使用ください。

●ハードディスクユニット---- N-HDD

印刷データをいったんハードディスクに登録する事により、部単位のコピー印刷をプリンタ側で行なえるようになります。大量の部単位コピー印刷でも、パソコン側の負担になりません。

☞ 5.6 ハードディスクユニットの取り付け（60ページ）

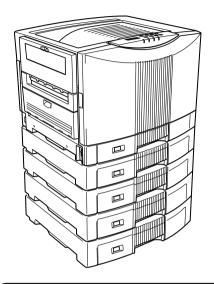
● N5 専用デスク -------------- N5-DESK

本プリンタを設置するための専用台です。

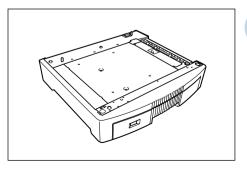
> ☑ ポイント
> 拡張ペーパフィーダを 2 台以上取り付けるときは、「拡張 2 段給紙ユニット」(N50-CPF2C) をご使用ください。

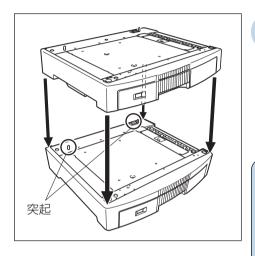
●オプション接続キット ---- N50-OPCN

N5000、N6000 シリーズに大容量給紙装置を取り付ける為のコネクタです。取り付けはサービスマンが行ないます。

5.2 拡張ペーパフィーダの取り付け

プリンタの下に取り付ける事により、プリンタ本体のカセット給紙も含み、最大5段までカセット給紙ができるようになります。A3 ユニバーサルカセット付きです。

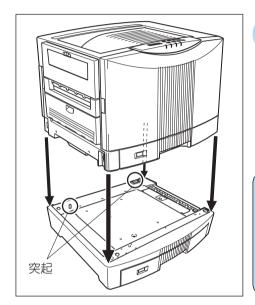
⚠ 注 意

プリンタを持ち上げるときは、必ず4人以上で所定の位置を持ってください。詳しくは☞ 付録3. プリンタを運ぶとき(98ページ)を参照してください。

1 拡張ペーパフィーダを箱から取り出し、設置する場所に置きます。

ポイント 2台以上の拡張ペーパフィーダを取り付けるときは、以下の手順であらかじめ拡張ペーパフィーダ同士を重ね合わせ、その上にプリンタ本体を乗せます。

2 拡張ペーパフィーダ同士の四隅を合わせるようにして、水平に重ね合わせます。

ポイント 拡張ペーパフィーダの突起と穴がかみ合って、拡張ペーパフィーダの間に隙間ができていない事を確認してください。

※ 図の例は2台の拡張ペーパフィーダを重ね合わせた状態ですが、2台以上の拡張ペーパフィーダを取り付けるときも同様に重ね合わせてください。最大4台まで重ねる事ができます。

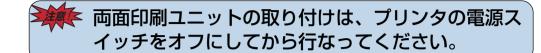
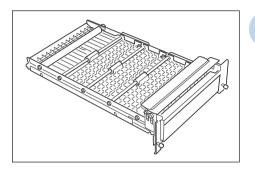
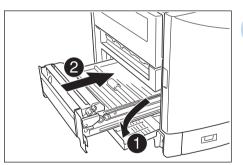
拡張ペーパフィーダにプリンタを乗せる前に、電源スイッチをオフにし、電源コードやプリンタケーブルを抜いてください。

3 プリンタを持ち上げて、拡張ペーパフィーダの上に、四隅を合わせるようにして水平に降ろします。

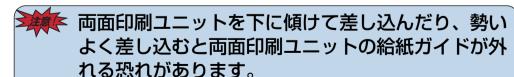
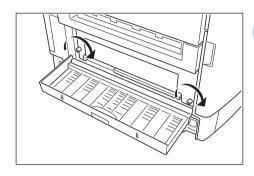
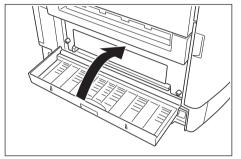
ポイント 拡張ペーパフィーダの突起がプリンタの穴にはまり、プリンタとの間に隙間ができていない事を確認してください。

4 プリンタドライバの「環境設定」タブ画面で、取り付けた台数分の「給紙装置」を追加します。

「スタート」→「設定」→「プリンタ」を選択します。（WindowsXPでは「スタート」→「コントロールパネル」→「プリンタとその他のハードウェア」→「プリンタとFAX」をクリック、Windows Server2003では「スタート」→「設定」→「プリンタとFAX」を選択します。）「N6000アイコン」を右クリック→「プロパティ」→「環境設定」タブ画面

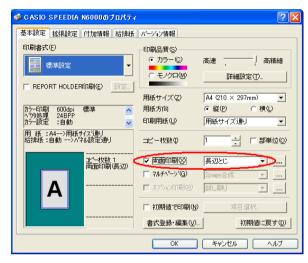
5.3 両面印刷ユニットの取り付け

注意！ 両面印刷ユニットの取り付けは、プリンタの電源スイッチをオフにしてから行なってください。

1 両面印刷ユニットを箱から取り出し、輸送用テープや緩衝材を取り除きます。

2 プリンタ左側面の両面印刷ユニット装着口のカバーを開け、図の向きに両面印刷ユニットを水平にゆっくり奥まで差し込みます。

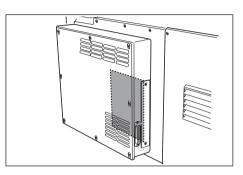
注意！ 両面印刷ユニットを下に傾けて差し込んだり、勢いよく差し込むと両面印刷ユニットの給紙ガイドが外れる恐れがあります。

3 図のネジ２本でプリンタに固定します。

4 両面印刷ユニット装着口のカバーを閉めます。

5 プリンタドライバの「環境設定」タブ画面で、「両面印刷ユニット」を追加します。

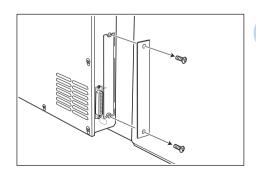
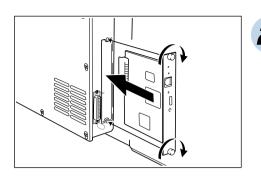
「スタート」→「設定」→「プリンタ」を選択します。（WindowsXPでは「スタート」→「コントロールパネル」→「プリンタとその他のハードウェア」→「プリンタとFAX」をクリック、Windows Server2003では「スタート」→「設定」→「プリンタとFAX」を選択します。）「N6000アイコン」を右クリック→「プロパティ」→「環境設定」タブ画面

● 両面印刷するときはプリンタドライバの「基本設定」タブ画面を開いて、両面印刷をチェックします。

アプリケーションソフトの「ファイル」→「印刷」画面で「SPEEDIA N6000」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックし、「基本設定」タブ画面を表示。(アプリケーションソフトにより一部異なる場合があります。)

ポイント
両面印刷に使用する用紙は、80～105g/m² (69～90kg)を推奨致します。それ以外の薄い用紙を使用すると紙詰まりが発生しやすくなります。

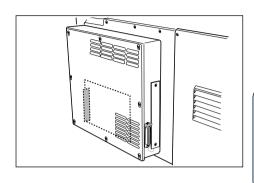
5.4 インターフェイスボードの取り付け

図の拡張スロットに、以下の手順でLANI/Fボードを取り付けます。

ポイント
インターフェイスボードの取り付けにはプラスのドライバが必要です。あらかじめご用意ください。

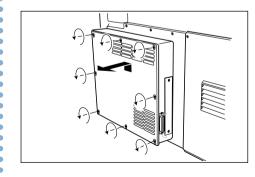
注意!
インターフェイスボードの取り付けは、プリンタの電源スイッチをオフにしてから行なってください。インターフェイスボードのコネクタやICに手を触れないでください。

1 プリンタ背面のシールドカバー(金属板)を、ネジ(2箇所)を外して取り外します。

2 LANI/F ボードを拡張スロットのガイドに合わせて差し込み、ネジ2本を手で回して固定します。

ポイント インターフェイスボードが、拡張スロットの奥のコネクタに接続するように確実に差し込んでください。

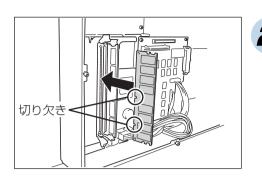
ポイント LANI/F ボードの設定については LANI/F ボードに同梱の取扱説明書を参照してください。

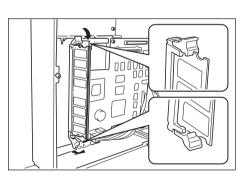
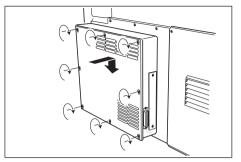
5.5 増設メモリモジュールの取り付け

プリンタのシステムメモリを拡張できます。

ポイント 増設メモリモジュールの取り付けにはプラスのドライバが必要です。あらかじめご用意ください。

注意! 増設メモリモジュールの取り付けは、プリンタの電源スイッチをオフにしてから行なってください。
増設メモリモジュールのコネクタやICに手を触れないでください。

1 プリンタ背面のパネル（金属板）を、ネジ（8箇所）をゆるめて取り外します。

注 意

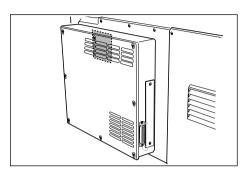
パネル（金属板）を落としてけがをしないようご注意ください。

2 増設メモリモジュールの空きソケットに、増設メモリの切り欠きが図の向きになるように奥までしっかり差し込みます。

ポイント 2ケ所のソケットの一方には標準の64Mバイトのメモリが実装されています。最大のメモリ容量（256Mバイト）にするときは、標準のメモリを128MBのメモリに交換してください。

3 ソケット左右のロックレバーが内側に倒れて増設メモリモジュールを確実にロックしている事を確認します。

4 パネル（金属板）をネジ8箇所で固定します。

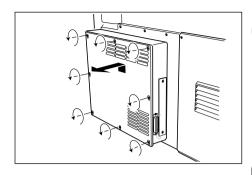
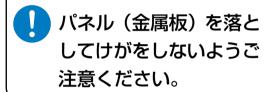
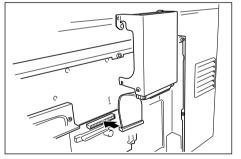
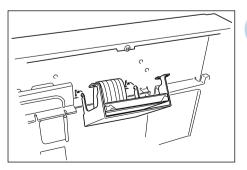
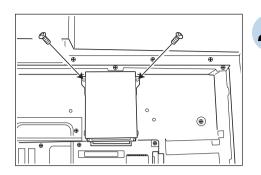
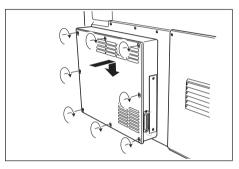
5 プリンタドライバの「環境設定」タブ画面で、メモリ追加後の「搭載メモリ」を選択します。

「スタート」→「設定」→「プリンタ」を選択します。（WindowsXPでは「スタート」→「コントロールパネル」→「プリンタとその他のハードウェア」→「プリンタとFAX」をクリック、Windows Server2003では「スタート」→「設定」→「プリンタとFAX」を選択します。）「N6000アイコン」を右クリック→「プロパティ」→「環境設定」タブ画面

ポイント プリンタ情報印刷（ステータスシート）を印刷して、メモリが正しく追加されているか確認できます。
 リファレンスマニュアル「設定値を確認する」（12ページ）

5.6 ハードディスクユニットの取り付け

印刷データをいったんハードディスクに登録する事により、部単位のコピー印刷をプリンタ側で行なえるようになります。大量の部単位コピー印刷でも、パソコン側の負担になりません。

ポイント ハードディスクユニットの取り付けにはプラスのドライバが必要です。あらかじめご用意ください。

注意！ ハードディスクユニットの取り付けは、プリンタの電源スイッチをオフにしてから行なってください。
ハードディスクユニットのコネクタやICに手を触れないでください。
ハードディスクユニットは衝撃に弱いため、取り付けの際に落としたりしないようご注意ください。

1 プリンタ背面のパネル（金属板）を、ネジ（8箇所）をゆるめて取り外します。

2 ハードディスクユニットのハーネスを図のコネクタに差し込みます。

3 ハードディスクユニットのフックを図の位置に引っ掛けます。

4 ネジ2本で固定します。

5 パネル（金属板）をネジ8箇所で固定します。

6 プリンタドライバの「環境設定」タブ画面で、「ハードディスク」を追加します。

「スタート」→「設定」→「プリンタ」を選択します。（WindowsXPでは「スタート」→「コントロールパネル」→「プリンタとその他のハードウェア」→「プリンタとFAX」をクリック、Windows Server2003では「スタート」→「設定」→「プリンタとFAX」を選択します。）「N6000アイコン」を右クリック→「プロパティ」→「環境設定」タブ画面

ポイント 新しいハードディスクを使用する前にフォーマットを行なってください。
☞ リファレンスマニュアル「HDD フォーマット」（16ページ）

ポイント セルフプリント（ステータスシート）を印刷して、ハードディスクが正しく追加されているか確認できます。
☞ セットアップガイド「6.2 セルフプリント（ステータスシート）の印刷」（28ページ）

6. 困ったときの処置方法

お困りの内容が次のどれに当てはまるか選んで該当するページをクリックしてください。
どうしても解決しないときは「お問い合わせ先」をクリックして、それぞれのお問い合わせ先にご連絡ください。

6.1 表示パネルのメッセージと処置方法

オペレータコール

表示パネルのメッセージ	状態	処置	参照ページ
アキュムレータ　マンパ゜イ	アキュムレータ(ステイプルする用紙を溜めておく場所)が満杯になりました。ステープルできる用紙は30枚以内です。	取消 ボタンを押すとステイプルせずに印刷を再開します。	
エンジ゛ンROM　イジ゛ョウ サービ゛スニレンラク	プリンタの制御ROMに異常が発生しました。	「プリンタ制御ソフトウェア」のバージョンアップの途中でプリンタの電源をOFFした場合や、バージョンアップに失敗した場合等が考えられます。このような場合は、取消 ボタンを押して、再度「プリンタ制御ソフトウェア」のバージョンアップを行なってください。 再度バージョンアップを行なっても左記エラーが発生する場合は、プリンタをお買い求めの販売店またはカシオテクノ・コールセンターにお問い合わせください。	89
カセットサイズ゛　カクニン CPF1　2　3　4　5　HCP	下段に表示されているペーパカセットに使用できないサイズの用紙がセットされています。またはペーパカセットのガイドが正しい位置にありません。 注)下段には該当するペーパカセットの番号が表示されます。	正しく用紙をセットして、ガイドを所定の位置にあわせてください。	24
カバ゛ーオープ゜ン ■■■■■■■■■	カバーが開いています。 ■■■■：カバーの種類が表示されます。 フロントカバー、ライトカバー、HCPFカバー フィニッシャハイシカバー	表示されているカバーをきちんと閉めてから印刷を開始してください。 注)カバーオープン時にブザーは鳴りません。	セットアップガイド 9

表示パネルのメッセージ	状　態	処　置	参照ページ
カミヅ゛マリ　▲▲マイ ABCDEFGHIJKLMNOP	紙詰まりが起こりました。 ▲▲：詰まっている用紙の枚数を表します。なお？？と表示されたら枚数不明状態です。 A～P：該当する紙詰まりの場所が全て表示されます。	詰まった用紙を取り除いてください。 注）実際の紙詰まり枚数と表示枚数は、一致しない事があります。また、紙詰まりの場所はおおよその場所ですので、それ以外の場所に用紙が詰まっている可能性もあります。	40
カミヅ゛マリ　テイチャクキ	定着ユニットで紙詰まりが起こりました。	定着ユニットに詰まった用紙を取り除いてください。紙詰まり処置後は取消ボタンを押してエラーを解除してください。	50
ステイフ゜ル　ツマリ	ステイプラの針が詰まりました。	ステイプラの針を取り除いてください。	フィニッシャの取扱説明書
ステイフ゜ル　カートリッジ゛ミソウチャク	ステイプルカートリッジが装着されていません。	ステイプルカートリッジを装着してください。取消ボタンを押すと印刷を再開します。	
ステイフ゜ル　ホキュウ	ステイプルがありません。	ステイプルを補給してください。 取消ボタンを押すとステイプルせずに印刷を再開します。	
ステイフ゜ルセット　マンパ゜イ	ロアトレイ上のステイプルされた用紙が30部を越えました。	ロアトレイ上の用紙を取り除いてください。	
ダ゛イヨウリョウキュウシカクニン	大容量給紙装置とプリンタが正しく連結されていません。	大容量給紙装置をプリンタに連結し直してください。	大容量給紙装置の取扱説明書
ツウシンイジ゛ョウ　HCPF	大容量給紙装置とプリンタの通信接続に異常が発生しました。	プリンタの電源を切り、大容量給紙装置の電源コードと接続ケーブルを差し直してください。	大容量給紙装置の取扱説明書
		前記の処置を行なってもエラーが再発するときは、カシオテクノ・コールセンターにご連絡ください。	89
ターンガ゛イド　オープ゜ン CPF　2　3　4　5	拡張ペーパフィーダのターンガイドが開いています。 注）下段には該当する給紙口の番号が表示されます。	開いているターンガイドを閉じてください。	―

表示パネルのメッセージ	状　態	処　置	参照ページ
テイチャクキ　ミソウチャク	定着ユニットが装着されていません。 又は正しく装着されていません。	定着ユニットを正しく取り付けてください。	－
テイチャククリーナ　イジ゛ョウ	定着クリーナに異常が発生しました。	定着クリーナをお買い求めの販売店またはカシオテクノ・コールセンターにお問い合わせください。	89
テイチャククリーナ　コウカン	定着クリーナの寿命になりました。	定着クリーナを交換してください。取消ボタンを押すと印刷を再開します。	16
テイチャククリーナ　ミソウチャク	定着クリーナが正しく装着されていません。	定着クリーナを正しく装着し直してください。	17
トナー　　コウカン　　ＫＹＣＭ	トナーセットが寿命になりました。 「KYCM」の部分は該当する色の文字が表示されます。 K:ブラック　Y:イエロー　C:シアン　M:マゼンタ	該当する色のトナーセットを新しいものと交換してください。	12
トナー　コウカンシ゛キ　ＫＹＣＭ	トナー残量が少ないため、画像が薄くなったり、画質が低下しやすい状態で印刷している事を示しています。 「KYCM」の部分は該当する色の文字が表示されます。 K：ブラック　Y：イエロー　C：シアン　M：マゼンタ	「トナー　コウカンヨコク」が表示されたときに取消ボタンを押すとこの表示になります。該当する色の新しいトナーセットをご準備ください。	12
トナー　コウカンヨコク　ＫＹＣＭ	トナーセットの寿命が近くなりました。 「KYCM」の部分は該当する色の文字が表示されます。 K:ブラック　Y:イエロー　C:シアン　M:マゼンタ	該当する色の新しいトナーセットをご準備ください。取消ボタンを押すと印刷を再開します。操作パネルの設定で予告エラーをスキップできます。	12 リファレンスマニュアル34
トナート゛ラムカクニン　ＫＹＣＭ	トナーセットまたはドラムセットが取り付けられていません。もしくは正しく取り付けられていません。 「KYCM」の部分は該当する色の文字が表示されます。 K:ブラック　Y:イエロー　C:シアン　M:マゼンタ	トナーセットまたはドラムセットを正しく取り付けてください。	9 12
トナー　　フテキコ゛ウ　ＫＹＣＭ	取り付けられているトナーセットは本プリンタ用ではありません。 「KYCM」の部分は該当する色の文字が表示されます。 K:ブラック　Y:イエロー　C:シアン　M:マゼンタ	本プリンタ用のトナーセットを使用してください。	－

表示パネルのメッセージ	状　態	処　置	参照ページ
ト゛ラム　イシ゛ョウ　　ＫＹＣＭ	ドラムセットに異常が発生しました。 「KYCM」の部分は該当する色の文字が表示されます。 K:ブラック　Y:イエロー　C:シアン　M:マゼンタ	ドラムセットをお買い求めの販売店またはカシオテクノ・コールセンターにお問い合わせください。	90
ト゛ラム　コウカン　　　ＫＹＣＭ	ドラムセットの寿命になりました。 「KYCM」の部分は該当する色の文字が表示されます。 K:ブラック　Y:イエロー　C:シアン　M:マゼンタ	該当する色のドラムセットを新しいドラムセットと交換してください。取消ボタンを押すと印刷を再開します。	9
ト゛ラム　フテキコ゛ウ　ＫＹＣＭ	取り付けられているドラムセットは、本プリンタ用ではありません。 「KYCM」の部分は該当する色の文字が表示されます。 K:ブラック　Y:イエロー　C:シアン　M:マゼンタ	本プリンタ用のドラムセットを使用してください。	―
トレイ　クローズ゛	アッパー排紙トレイが閉じられています。	アッパー排紙トレイを開けてください。	38
ハイシ　ヨウシ　マンハ゜イ メイン　アッハ゜ー　ロア	下段に表示されている排紙口が用紙でいっぱいになりました。 注）下段には該当する排紙口が全て表示されます。 メイン：フェイスダウン排紙口（プリンタ上部） ロア　：フィニッシャ下段	表示されている排紙口の用紙を取り除いてください。	40
ハ゜ンチ　ダ゛ストＢＯＸナシ	パンチダストボックスが装着されていません。	パンチダストボックスを装着してください。	
ハ゜ンチ　ダ゛ストＢＯＸ マンハ゜イ	パンチダストボックスが満杯です。	パンチダストボックスのゴミを捨ててください。取消ボタンを押すと印刷を再開します。	
メンテナンス　シテクダ゛サイ サーヒ゛スニレンラク	定期交換部品の交換が必要です。	お買い求めの販売店またはカシオテクノ・コールセンターにご連絡ください。	90
メンテナンス　ジ゛キ サーヒ゛スニレンラク	定期交換部品の交換時期がきました。	早めにお買い求めの販売店またはカシオテクノ・コールセンターにご連絡ください。取消ボタンを押すと、一時的に表示は消えます。	90

表示パネルのメッセージ	状　態	処　置	参照ページ
メンテナンス　ヨコク 　サービ゛スニレンラク	定期交換部品の交換時期に近づきました。	お買い求めの販売店またはカシオテクノ・コールセンターにご連絡ください。取消ボタンを押すと印刷を再開します。 操作パネルの設定で予告をスキップできます。	87 89 リファレンスマニュアル 34
ヨウシカセット　ナシ ＣＰＦ１　２　３　４　５ ＨＣＦ	下段に表示されているペーパカセットがプリンタに取り付けられていません。 注）下段には該当するペーパカセットの番号が全て表示されます。	ペーパカセットを、プリンタの奥まで確実に取り付けてください。	23
ヨウシ　ホキュウ　　※※※※※※ ＭＰＦ　ＣＰＦ１２３４５　ＨＣＦ	用紙がなくなりました。 ※※：用紙サイズを表します。 注）下段には該当するペーパカセットの番号が全て表示されます。	各給紙部に用紙を補給してください。	22 27
ヨウシ　マンハ゜イ ＣＰＦ１　２　３　４　５	ペーパカセットの用紙のセット枚数が多すぎます。 または、ペーパカセットが正しくセットされていません。 注）下段には該当するペーパカセットの番号が全て表示されます。	ペーパカセットの用紙を減らしてください。	－

警告エラー（操作パネルの設定で警告エラーをスキップできます。☞ リファレンスマニュアル「G5:エラー解除」（34ページ））

表示パネルのメッセージ	状　態	処　置	参照ページ
ＬＡＮ　ﾎﾞｰﾄﾞ　ｲｼﾞｮｳ ﾎﾞｰﾄﾞ　ｶｸﾆﾝ	LANボードが正しく装着できていない、あるいは、LANボードに異常が発生しました。	電源切断した後、ボードが奥まで正しく差し込まれているか確認してください。ボードを正しく装着して、もう一度電源を入れ直してください。それでも左記メッセージが表示されている場合は、LANボードを交換してください。取消ボタンを押すとLANボード未装着で起動します。	57
ｾｯﾃｲﾅｲﾖｳ　ｲｼﾞｮｳ ｾｯﾃｲｼｮｷｶｦｼﾃｸﾀﾞｻｲ	プリンタの制御プログラムをバージョンアップしたときなど、設定メモリ(EEPROM)の初期化が必要な事を示しています。	取消ボタンを押して、エラーをスキップしてから設定メモリを初期化してください。	リファレンスマニュアル16
ﾊｰﾄﾞ　ﾃﾞｨｽｸ ｶｷｺﾐｴﾗｰ	ハードディスクにデータを書き込む事ができません。	取消ボタンを押して、エラーをスキップしてください。もう一度データを送り直してください。	―
ﾊｰﾄﾞ　ﾃﾞｨｽｸ ﾃﾞｰﾀｲｼﾞｮｳ	ハードディスクに書き込まれているデータファイルに自動復旧不可能な異常箇所がありました。	取消ボタンを押して、エラーをスキップしてください。異常箇所を削除します。	―
ﾊｰﾄﾞ　ﾃﾞｨｽｸ ﾌｫｰﾏｯﾄｲｼﾞｮｳ	ハードディスクに書き込まれているデータファイルに自動復旧不可能な異常箇所がありました。	取消ボタンを押して、エラーをスキップしてください。ハードディスクのフォーマットを実行してください。	リファレンスマニュアル16
ﾊｰﾄﾞ　ﾃﾞｨｽｸ ﾐｿｳﾁｬｸ	ハードディスクが装着されていません。	取消ボタンを押して、エラーを解除してください。ハードディスクを取り付けてください。	60
ﾊｰﾄﾞ　ﾃﾞｨｽｸ ｱｷﾖｳﾘｮｳ　ﾌｿｸ	ハードディスクに空き容量がありません。	取消ボタンを押して、エラーをスキップしてください。不要なデータを削除してください。	―
ﾊｰﾄﾞ　ﾃﾞｨｽｸ ﾖﾐﾀﾞｼｴﾗｰ	ハードディスクからデータを読み込む事ができません。	取消ボタンを押して、エラーをスキップしてください。	―

表示パネルのメッセージ	状　態	処　置	参照ページ
メモリオーバ゛ー メモリガ゛タリマセン	メモリ容量不足で印刷ができません。	取消 ボタンを押して、エラーを解除してください。別売の増設メモリモジュールを取り付けて、全体のメモリ容量を増やしてください。または解像度を下げて印刷してください。	58
ヨウシ　コウカン　※※※※※※ MPF　CPF12345　HCF	印刷しようとしたサイズの用紙がプリンタにセットされていません。 ※※：用紙サイズを表します。 注）下段には該当するペーパカセットの番号が全て表示されます。	表示されている給紙口に、表示されているサイズの用紙を入れ、取消 ボタンを押してください。用紙を交換せずに 取消 ボタンを押すと、現在セットされている用紙に印刷します。	21 27

エラーメッセージ

表示パネルのメッセージ	状　態	処　置	参照ページ
サービ゛ス　ニ　レンラク！！ 1×× Controller Error No. 2××	プリンタの修理が必要です。 1××または2××には3桁の数字が表示されます。	一度電源をOFFにし、数分後に電源をONにします。再度表示されたときは、1××又は2××の数字を書き写して電源をOFFにし、お買い上げの販売店またはカシオテクノ・コールセンターにご連絡ください。	89
Internal Error No. 3××	プリンタ内部にエラーが発生しました。 3××には3桁の数字が表示されます。	電源を再投入すると復旧します。再度表示されたときは、3××の数字を書き写して電源をOFFにし、お買い上げの販売店またはカシオテクノ・コールセンターにご連絡ください。	89

6.2 電源のトラブル

現　象	確　認	処　置
プリンタの電源が入らない	電源コードが抜けていませんか？	プリンタのインレット側とコンセント側に電源コードを確実に差し込んでください。
	コンセントに電源は来ていますか？	ほかの電気製品をコンセントに差し込んで、動作するか確認してください。
	コンセントの電圧(100V、15A)は正しいですか？	コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。他の電子機器(パソコン等)のサービスコンセントは接続しないでください。
ブレーカーが動作してしまう	ブレーカーの定格は十分ですか？ 本プリンタの最大消費電力は1200W(12A)です。	ブレーカーの定格が十分でも、ブレーカーが動作するときは、他の機器(パソコン、ファクシミリ等)を他のコンセントに差し替えるか、本プリンタ用の別配線をご用意ください。

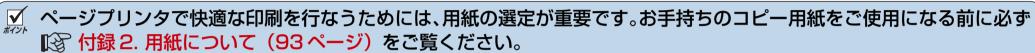
6.3 印刷できない

原　因（確認）	処　置	参照ページ
プリンタケーブルが抜けていませんか？	プリンタケーブルのパソコン側とプリンタ側を確実に差し込んでください。	セットアップガイド30
オンラインランプが消灯していませんか？	オンラインボタンを押して、オンラインランプを点灯させてください。	−
プリンタとパソコンの間にプリンタ切り替え機や変換アダプタ類を使用していませんか？	プリンタ切り替え機、プリンタバッファ、延長ケーブル、USBハブ、各種変換アダプタの種類によっては、正しく動作しない場合があります。パソコンとプリンタを直接つないで印刷してみてください。	−
プリンタケーブルはパソコンやプリンタの仕様に合っていますか？	IEEE1284規格のプリンタケーブルをご使用ください。弊社オプション品のプリンタケーブルCP-CA554(DOS/Vパソコン用)のご使用を推奨します。 USBケーブルはツイストペア、シールドタイプ、1.5m以内のものを推奨します。	53
プリンタのステータスシート(セルフプリント)は印刷できますか？	印刷できるときは、パソコン側に問題があると考えられます。接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などを確認してください。	−
他のパソコンから印刷できますか？	ネットワークで共有している他のパソコンから印刷できるときは、パソコン側に問題があると考えられます。接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などを確認してください。他のコンピュータからも印刷できない場合は、ネットワークに問題があると考えられます。ネットワーク管理者にご相談の上、LANボードのマニュアルを参照して設定を確認してください。	LANボード(オプション)マニュアル
プリンタがエラーメッセージを表示していませんか？	「6.1 表示パネルのメッセージと処置法」を参照して、処置してください。	63
本プリンタを「通常使うプリンタ」に設定してみてください。	アプリケーションソフトによっては、通常使うプリンタから印刷される場合があります。	−
印刷の内容を減らしたり、解像度をさげてしてみてください。	印刷の内容や解像度によってはパソコンやプリンタのメモリ不足等によって極端に時間がかかったり、印刷できない場合があります。	−

6.4 紙詰まりのトラブル

症　状	原　因（確認）	処　置	参照ページ
斜めに印刷されて紙詰まりになる	マルチペーパフィーダまたはペーパカセットの用紙ガイドが正しくセットされていますか？	マルチペーパフィーダまたはペーパカセットの用紙ガイドを、用紙に軽く当たる位置にセットし直してください。	24 27
	プリンタ右側面の給紙ガイドが確実に閉まっていますか？	プリンタ右側面の全ての給紙ガイドを確実に閉めてください。	43
用紙がシワになって紙詰まりになる	用紙の規格は合っていますか？セットされている用紙に波打ちや折り目などがありませんか？	不適切な用紙を取り除いてください。弊社推奨紙のご使用をおすすめします。	93
	全面ベタ印刷をしていませんか？	用紙送り方向に対して先端部分の余白を大きくしてください。	80
用紙が重なって印刷されて紙詰まりになる	用紙の継ぎ足しをしていませんか？	継ぎ足した用紙を取り除いてください。	－
	種類の違う用紙をセットしていませんか？	種類の違う用紙を取り除いてください。	－
	裁断面のバリ、ラベル紙の粘着材、用紙の静電気などで、用紙同士が付着していませんか？	用紙をさばいてからセットしてください。用紙同士の付着がひどいときはマルチペーパフィーダから1枚づつ印刷してみてください。	28
用紙が給紙されずに紙詰まりになる	給紙がスリップしています。	給紙口の用紙を裏表逆にしてみてください。	－
	給紙ロールに汚れ（紙粉など）が付着しています。（MPF給紙の場合のみ）	給紙ロールの汚れを、水を含ませて固く絞った布で拭き取ってください。	84
	用紙をセットしすぎていませんか？	横ガイドに貼ってあるラベルの「▼」マークより下（MPFの場合は横ガイド内側の突起より下）になるように、入れすぎた用紙を取り除いてください。	－

症　状	原　因（確認）	処　置	参照ページ
用紙の角が折れて紙詰まりになる	メニュー設定の「G8：ウォームアップ」が「クイック」に設定されていませんか？	メニュー設定の「G8：ウォームアップ」を「ノーマル」に設定すると改善する場合があります。	リファレンスマニュアル 34
	用紙の種類によっては、裏表を逆にセットすると紙詰まりしやすい場合があります。	給紙口の用紙を裏表逆にしてみてください。	－

ページプリンタで快適な印刷を行なうためには、用紙の選定が重要です。お手持ちのコピー用紙をご使用になる前に必ず 付録 2. 用紙について（93 ページ）をご覧ください。

用紙のサイズや厚さが規格内でも紙質等により紙詰まりが多発したり、画質が低下する事があります。大量の用紙を、お買い求めになるときは、事前に十分テスト印刷を行ない、このようなトラブルが発生しない事をご確認ください。

6.5 印刷品質のトラブル

印刷品質が悪い場合は、以下の表からもっとも近いと思われる症状を選び、処置を行なってください。
該当する処置を行なっても印刷品質が改善されない場合は、お買い求めの販売店またはカシオテクノ·コールセンター ☞(89ページ) までご連絡ください。

症　状	原　因	処　置
印刷がうすい (かすれる、不鮮明)	パネル側で「F9トナーセーブ」が設定されていませんか。	「F9：トナーセーブ」を正しく設定してください。 ☞ リファレンスマニュアル「F9：トナーセーブ」(31ページ)
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 ☞ 2. 用紙の補給(21ページ)
	トナーセット内にトナーが残っていません。	新しいトナーセットと交換してください。 ☞ 1.4 トナーセットの交換方法(12ページ)
	酸性紙を使用していませんか。	中性紙をご使用ください。
	プリンタが結露しています。 気温が低い日の朝や、室外から室内に移動したときに発生しやすくなります。	電源スイッチをONにしたまま10～20分間放置します。セルフプリント☞ セットアップガイド(28ページ)を行ない、印刷が濃くなった事を確認します。結露がひどいときは回復に1時間程度かかる事があります。
	ドラムセットが劣化または損傷しています。	印刷がうすくなる色のドラムセットを新しいドラムセットと交換してください。 ☞ 1.3 ドラムセットの交換方法(9ページ)
	一度に複数枚の用紙が搬送されています。	用紙をよくさばいてからセットし直してください。

症　状	原　因	処　置
斑点が印刷される	紙詰まり処置後に印刷された用紙は、表面や裏面に汚れが付着することがあります。特に定着ユニットに詰まった用紙を排紙口側から引き抜くと発生しやすくなります。☞ (46ページ手順8)	数枚印刷すると汚れは消えます。 汚れが消えないときは、定着クリーナを交換してください。
	定着クリーナの交換時期です。	新しい定着クリーナと交換してください。 ☞ 1.5 定着クリーナの交換方法(16ページ)
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 ☞ 付録2. 用紙について(93ページ)
	ドラムセットが劣化または損傷しています。	白紙を印刷して、斑点が出る色のドラムセットを新しいドラムセットと交換してください。 ☞ 1.3 ドラムセットの交換方法(9ページ)
線が印刷される	ドラムセットが劣化または損傷しています。	白紙を印刷して、線が出る色のドラムセットを新しいドラムセットと交換してください。 ☞ 1.3 ドラムセットの交換方法(9ページ)
等間隔に汚れる	ドラムセットが劣化または損傷しています。	白紙を印刷して、線が出る色のドラムセットを新しいドラムセットと交換してください。 ☞ 1.3 ドラムセットの交換方法(9ページ)

症　状	原　因	処　置
ぬりつぶされた部分に白点が現れる	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 ☞ 付録2. 用紙について(93ページ)
	ドラムセットまたはトナーセットが劣化または損傷しています。	白点が印刷される色のドラムセットまたはトナーセットを新しいドラムセットまたはトナーセットと交換してください。 ☞ 1.3 ドラムセットの交換方法(9ページ) ☞ 1.4 トナーセットの交換方法(12ページ)
指でこするとかすれる・剥がれる	紙種の設定が合っていません。	使用する用紙に合わせて紙種の設定をしてください。 ☞ リファレンスマニュアル「F0～F5：紙種」(30ページ)
	定着ユニットのレバーが解除側になっています。	定着ユニットのレバーをロック側にしてください。 ☞ 4.5 プリンタ本体の紙詰まり(44ページ)
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 ☞ 2. 用紙の補給(21ページ)
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 ☞ 付録2. 用紙について(93ページ)
用紙全体がぬりつぶされる	ドラムセットまたはトナーセットが劣化または損傷しています。	白紙を印刷して、ぬりつぶされる色のドラムセットまたはトナーセットを新しいドラムセットまたはトナーセットと交換してください。 ☞ 1.3 ドラムセットの交換方法(9ページ) ☞ 1.4 トナーセットの交換方法(12ページ)
	ドラムセットまたはトナーセットが正しく取り付けられていません。	ドラムセットまたはトナーセットを正しく取り付け直してください。 ☞ 1.3 ドラムセットの交換方法(9ページ) ☞ 1.4 トナーセットの交換方法(12ページ)
	プリンタの故障が考えられます。	販売店またはカシオテクノ・コールセンターにご連絡ください。 ☞ カシオテクノ・コールセンター(89ページ)

症　状	原　因	処　置
何も印刷されない	一度に複数枚の用紙が搬送されています。	用紙をよくさばいてからセットし直してください。
	トナーセット内にトナーが残っていません。	印刷できなくなった色のトナーセットを新しいトナーセットと交換してください。 ☞ 1.4 トナーセットの交換方法(12ページ)
	ドラムセットまたはトナーセットが劣化または損傷しています。	印刷できなくなった色のドラムセットまたはトナーセットを新しいドラムセットまたはトナーセットと交換してください。 ☞ 1.3 ドラムセットの交換方法(9ページ) ☞ 1.4 トナーセットの交換方法(12ページ)
	プリンタの故障が考えられます。	販売店またはカシオテクノ・コールセンターにご連絡ください。 ☞ カシオテクノ・コールセンター(89ページ)
部分的に白く抜ける・カスレる・うすい	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 ☞ 2. 用紙の補給(21ページ)
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 ☞ 付録2. 用紙について(94ページ)
	酸性紙を使用していませんか。	中性紙をご使用ください。
	トナーセット内にトナーが残っていません。	白く抜ける色のトナーセットを新しいトナーセットと交換してください。 ☞ 1.4 トナーセットの交換方法(12ページ)
	ドラムセットまたはトナーセットが正しく取り付けられていません。	ドラムセットまたはトナーセットを正しく取り付け直してください。 ☞ 1.3 ドラムセットの交換方法(9ページ) ☞ 1.4 トナーセットの交換方法(12ページ)
	両面印刷したときのみカスレていませんか。	プリンタドライバのプロパティ設定画面の「給排紙」タブ画面で「紙種」を「普通紙(ウスデ)」に設定すると改善される場合があります。 プリンタの設定メニューで「フツウ(ウスデ)」に設定しておくと、毎回プリンタドライバの紙種を変更する必要が無くなります。 ☞ リファレンスマニュアル「3.メニュー設定」-「(F)印刷設定５」(12ページ)

症　状	原　因	処　置
部分的に白く抜ける・カスレる・うすい	長尺紙に印字率が高い(ベタ部分が多い)画像を印刷していませんか。	網かけを使うなどにより印字率を低くして印刷してください。
用紙にシワがつく 文字がにじむ	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 ☞ 付録2. 用紙について(93ページ)
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 ☞ 2. 用紙の補給(21ページ)
縦長に白抜けする	LEDヘッドのレンズが汚れています。	LEDヘッドのレンズをきれいな乾いた布またはティッシュ等で拭いてください。 ☞ LEDヘッドの清掃方法(82ページ)
	トナーセット内のトナーが均一になっていません。	トナーセットを取り出して左右に4~5回振って中のトナーを均一にしてください。
	トナーセット内にトナーが残っていません。	白抜けする色のトナーセットを新しいトナーセットと交換してください。 ☞ 1.4 トナーセットの交換方法(12ページ)
	トナーセットが劣化または損傷しています。	
	ドラムセットまたはトナーセットが正しく取り付けられていません。	ドラムセットまたはトナーセットを正しく取り付け直してください。 ☞ 1.3 ドラムセットの交換方法(9ページ) ☞ 1.4 トナーセットの交換方法(12ページ)

症　状	原　因	処　置
背景がトナーで汚れる	ドラムセットまたはトナーセットが正しく取り付けられていません。	ドラムセットまたはトナーセットを正しく取り付け直してください。 ☞ 1.3 ドラムセットの交換方法(9ページ) ☞ 1.4 トナーセットの交換方法(12ページ)
色がズレる	ドラムセットまたはトナーセットが正しく取り付けられていません。	ドラムセットまたはトナーセットを正しく取り付け直してください。 ☞ 1.3 ドラムセットの交換方法(9ページ) ☞ 1.4 トナーセットの交換方法(12ページ)
長尺紙に印刷できない	アプリケーションソフトが最大297×1200mmの原稿サイズをサポートしていないと長尺紙の原稿が作成できません。	任意の用紙サイズで297×1200mmを設定できるアプリケーションソフトで原稿を作成してください。
長尺紙の印刷が遅い	プリンタドライバの設定を変更すると改善される事があります。	プリンタドライバの「印刷書式」の設定で「画面プレビュー優先」に設定してください。
	プリンタのメモリが不足しています。	標準64MBに対して128MBのメモリを追加し、合計192MB以上のメモリを推奨します。
	長尺紙に対して横書きの原稿を作成すると印刷に時間がかかります。	長尺紙に対して縦書きの原稿にすると速くなります。

症　状	原　因	処　置
印刷面が汚れる 裏面が汚れる OHPフィルムの印刷画像が剥がれて別の場所に付着する	定着クリーナの交換時期です。	新しい定着クリーナと交換してください。 ☞ 1.5 定着クリーナの交換方法（16ページ）
ベタ印刷部分にこすれあとが付く	紙送り方向に対して先端部分に黒に近い色（Y,M,Cを重ねた暗い色）を印刷すると発生しやすくなります。ひどい場合は定着器に用紙が詰まることがあります。	先端部分の余白を広げてください。
		トナーセーブモードで全体の色を薄くすると軽減することがあります。
		先端が濃く、後端が薄い場合は☞リバース印字（プリンタドライバマニュアル「排紙ーオプション」（21ページ））で先端と後端を逆向きに印刷してください。
		先端部分の暗い色を明るい色（薄い色）に変更してください。
		先端部分が暗い色の画像を連続して印刷しないようにしてください。

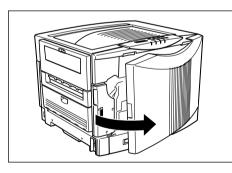
症　状	原　因	処　置
色がズレる 広告の品 トマト 128円	シェルが正しく閉められていません。	シェルを正しく閉め直してください。 ☞1.3 ドラムセットの交換方法(11ページ手順12)
	ドラムセットまたはトナーセットが正しく取り付けられていません。	ドラムセットとトナーセットを正しく取り付け直してください。 ☞1.3 ドラムセットの交換方法(9ページ) ☞1.4 トナーセットの交換方法(12ページ)
	自動レジスト(色ズレ)補正が補正可能範囲外に設定されています。	まず、下記②のみを行なってください。それでも改善しないときは、下記①,②の順で両方行なってください。 ①. プリンタの設定メニューで「C5:レジスト補正」を「シナイ」に設定します。 ☞ リファレンスマニュアル「C5:レジスト補正」(24ページ) ②. プリンタの設定メニューで「A3:自動補正初期化」の「レジスト」を実行します。 ☞ リファレンスマニュアル「A3:自動補正初期化」(15ページ)
色の濃さが極端に違う 広告の品 トマト 128円	シェルが正しく閉められていません。	シェルを正しく閉め直してください。 ☞1.3 ドラムセットの交換方法(11ページ手順12)
	ドラムセットまたはトナーセットが正しく取り付けられていません。	ドラムセットとトナーセットを正しく取り付け直してください。 ☞1.3 ドラムセットの交換方法(9ページ) ☞1.4 トナーセットの交換方法(12ページ)
	自動濃度補正が補正可能範囲外に設定されています。	まず、下記②のみを行なってください。それでも改善しないときは、下記①,②の順で両方行なってください。 ①. プリンタの設定メニューで「C6:濃度補正」を「シナイ」に設定します。 ☞ リファレンスマニュアル「C6:濃度補正」(24ページ) ②. プリンタの設定メニューで「A3:自動補正初期化」の「濃度」を実行します。 ☞ リファレンスマニュアル「A3：自動補正初期化」(15ページ)

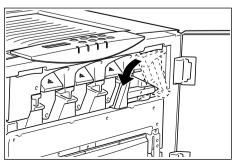
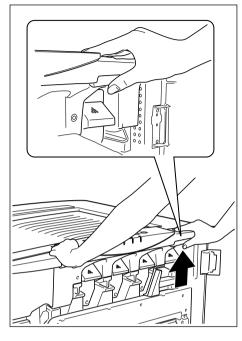
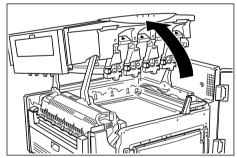
LEDヘッドの清掃方法

紙送り方向

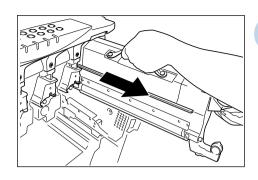
PI INT R
PI INT R
PI INT R
PI INT R
PI INT R

LEDヘッドのレンズがトナー等で汚れると、左図のように画像がスジ状に白く抜ける事があります。このようなときは以下の手順でLEDヘッドのレンズを清掃してください。

ポイント 清掃にはきれいな乾いた布またはティッシュペーパーが必要ですのであらかじめご用意ください。

1 フロントカバーを開けます。

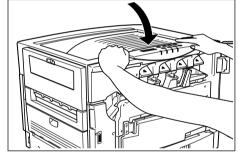
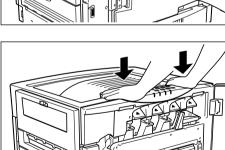
ポイント 印刷中はフロントカバーを開けないでください。

2 ロックレバーを解除（左）側に倒します。

3 シェル解除ボタン（右側の取っ手）を押しながらゆっくり持ち上げます。

4 シェルをいっぱいに止まるまで開けます。

注 意

シェルは必ず最後まで開けてください。途中で止めたり、開けたシェルに手を触れると、シェルが閉じて手などをはさまれ、けがをする事があります。

5 全てのドラムセットとトナーセットを取り外します。

☞1.3 ドラムセットの交換方法（9ページ）

☞1.4 トナーセットの交換方法（12ページ）

6 LEDヘッドのレンズ（ガラス面）をきれいな乾いた布またはティッシュペーパーで拭いてください。

☑ポイント レンズの端から端まで布をすべらせるようにして汚れを拭き取ってください。

☑ポイント LEDヘッドは全部で４本あります。全てのLEDヘッドのレンズを清掃してください。

7 全てのドラムセットとトナーセットを取り付けます。

☞1.3 ドラムセットの交換方法（9ページ）

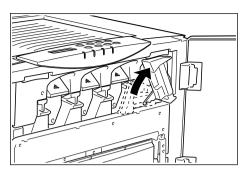
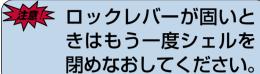
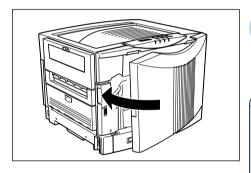
☞1.4 トナーセットの交換方法（12ページ）

8 シェルをゆっくり閉め、両手で押してカチッとロックします。

⚠注 意

シェルを閉めるときは、周囲の人の手や物をはさまないよう十分ご注意ください。

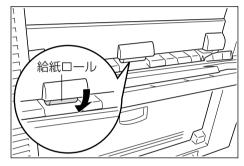
9 **ロックレバーをロック側（上向き）に起こしてロックします。**

注意！ ロックレバーが固いときはもう一度シェルを閉めなおしてください。

10 **フロントカバーを閉めます。**

注意！ フロントカバーが閉まらないときは、ロックレバー（手順*9*）がロック側（上向き）になっている事を確認してください。

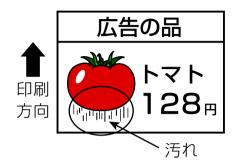
ポイント LEDヘッドの清掃をしても画像に白スジが出る場合は、ドラムセットまたはトナーセットの劣化または損傷が考えられます。新しいドラムセットまたはトナーセットに交換してください。

給紙ロールの清掃方法

マルチペーパフィーダの給紙ロールに紙粉などの汚れが付着すると、用紙がスリップして紙詰まりが発生しやすくなります。このようなときは、以下の方法で給紙ロールに付着した汚れ（紙粉など）を拭き取ってください。

マルチペーパフィーダを開け、底板が下がっている状態にします。

水を含ませて固く絞った布で、図の給紙ロール（グレーのゴムロール）を矢印の方向（↓）に少しずつ回しながら拭いてください。

定着クリーナの交換

厚紙に印刷すると定着クリーナが汚れやすくなります。定着クリーナが汚れると印刷面または裏面にこすれたような汚れが付くようになります。このようなときは新しい定着クリーナ（N60-TCLN）に交換してください。定着クリーナを交換せずに使用し続けると、定着ユニットの寿命を縮めますので、早目の交換をおすすめします。(定着クリーナの交換方法は16～20ページをご参照ください。)

※ 定着クリーナを交換したときおよび、厚紙（106g/m² 以上)を印刷した後に薄手の紙（105g/m²以下）を印刷すると、裏面にトナーの汚れが付着する事があります。このようなときは、初めの１～２枚は A4 サイズの普通紙を印刷し、汚れを取り除いてください。

6.6 印刷内容のトラブル

症　状	原　因（確認）	処　置	参照ページ
カラーで印刷できない	プリンタドライバの設定が「モノクロ」になっていませんか？	プリンタドライバの設定を「カラー」にしてください。アプリケーションソフト側でもカラーに設定しなければならない場合があります。	プリンタドライバマニュアル 17, 23
印刷の途中で2枚に分かれて印刷される	自動排紙時間が短すぎませんか？	自動排紙時間を長めまたは「OFF」に設定して印刷してみてください。	リファレンスマニュアル 42
文字化けする 白紙が何枚もでてくる	プリンタドライバの機種設定は合っていますか？	本プリンタのプリンタドライバをインストールし直してください。	－
	プリンタとパソコンの間にプリンタ切り替え機や変換アダプタ類を使用していませんか？	プリンタ切り替え機、プリンタバッファ、延長ケーブル、各種変換アダプタの種類によっては、正しく動作しない場合があります。パソコンとプリンタを直接つないで印刷してみてください。	－
	プリンタケーブルはパソコンやプリンタの仕様に合っていますか？	IEEE1284規格のプリンタケーブルをご使用ください。弊社オプション品のプリンタケーブルCP-CA554（DOS/Vパソコン用）のご使用を推奨します。USBケーブルはツイストペア、シールドタイプ、1.5m以内のものを推奨します。	53
	プリンタケーブルが抜けかかっていませんか？	プリンタケーブルを確実に差し込み直してください。	－

6.7 定期交換部品について

本プリンタの定期交換部品（摩耗などにより機能低下する部品）の種類と、一般的な使用方法※1での交換目安は以下の通りです。これらの部品が摩耗すると、「紙詰まりが多くなる」「斜めに印刷される」「印刷面または裏面に黒スジが印刷される」等の症状が多発するようになります。このようなときはお買い求めの販売店または、カシオテクノ・コールセンター ☞(89ページ) にお問い合わせください。

定期交換部品	交換目安
●転写ベルトユニット ●定着ユニット	10万枚
●搬送ローラ（上） ●レジストフレームユニット ●給紙コロ* ●FD排紙ローラ	20万枚
●60万枚交換キット 用紙搬送系消耗部品類及び温度センサー	60万枚
●100万枚交換キット 電磁クラッチ類	100万枚

*厚紙使用時は約10万枚で交換が必要になる場合があります。

※１ 一般的な使用方法とは以下の条件を想定しています。

① 平均通電時間は１日８時間
② A4 サイズ横送り
③ 弊社推奨普通紙を使用
④ 環境は常温・常湿

ただし、お客様の使用形態により異なりますので、交換目安よりも早く交換が必要になる場合があります。

※２ 定期交換枚数になると、表示パネルに「メンテナンスジキ　サービスニレンラク」と表示されます。さらに印刷し続けると約１万枚で「メンテナンスシテクダサイ　サービスニレンラク」と表示され印刷できなくなりますので、早めに定期交換部品を交換してください（１万枚の間は動作保証致しません）。

6.8 その他のトラブル

症　状	原　因（確認）	処　置	参照ページ
印刷に時間がかかる	プリンタがスリープ状態になっていませんか？スリープ状態から印刷をスタートすると印刷開始までに最大165秒かかる事があります。	操作パネルの設定で「GO: スリープ」をOFFに設定してください。	リファレンスマニュアル33
		操作パネルの設定で「G8：ウォームアップ」を「クイック」に設定してください。	リファレンスマニュアル34
	モノクロページのエコノミー印刷を「する」に設定していませんか？カラーとモノクロを切り替えるごとに印刷を中断するため印刷が遅くなります。	プリンタドライバの設定で、モノクロページのエコノミー印刷を「しない」に設定してください。	プリンタドライバマニュアル27
	ファイルサイズの大きい画像データを印刷していませんか？	プリンタのメモリ増設により改善される事があります。ただし、パソコン側のスプールに時間がかかっている場合はプリンタ側にメモリ増設しても効果は期待できません。	101
周辺のパソコンや電気製品に異常が発生する	電源容量は十分ですか？ プリンタは一時的に大電力を消費しますので、同じコンセントからパソコン等の電源を取ると、画面がチラついたりリセットがかかる事があります。	プリンタを15A以上の独立したコンセントに差し替えてご使用ください。	
電源投入時にカセットからカラカラと音がする	カセットの底板を持ち上げるときの音です。	カセット内の用紙が少ないと大きな音になる場合がありますが故障ではありません。用紙を補給すると音が小さくなります。	22

6.9 お問い合わせ先

どうしても操作がわからない、解決できない状態に陥った･･･
というときは、お客様担当の営業マンが対応いたします。

お問い合わせの際は、次の点についてお知らせください。

- ご氏名
- ご連絡先の電話番号
- プリンタの機種名
- プリンタのシリアル No.
- 接続パソコン名称、ご使用のソフトウェアの名称およびバージョン
- 機器構成（プリンタ切り替え機など）
- 現在どういう状態か
- どのような操作を行なったか
- プリンタの設定状態は（表示パネルの表示等）

さらに必要な場合

- 印字サンプル
- ステータスシート（プリンタ情報印刷）
- HEX ダンプ

インターネット・インフォメーション

各種ドライバ類・製品情報などを提供しております。
http: //www.casio.co.jp/ppr/

お問い合わせ窓口

製品の取り扱い方法・ソフト上のお問い合わせ

ご購入された販売店または担当営業にご連絡ください。

製品の機能設定方法およびソフト的障害に関するお問い合わせ

テクニカルインフォメーションセンター

TEL 03-5334-4557

受付時間は AM10:00 ～ 11:55、PM1:00 ～ 5:00
土、日、祝日（社内規定休日）は休み。

製品の故障や修理に関するお問い合わせ

カシオテクノ・コールセンター

0570-033066

市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間　月曜日～土曜日　AM9:00 ～ 12:00　PM1:00 ～ 5:30
（日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く）
※ 携帯電話・PHS 等をご利用の場合は 03-5294-7022 まで
※ 弊社は消耗品および補修用性能部品（修理部品）を、生産終了後も５年間保有しております。

付録 1. 主な仕様

項目＼形式			N6000
形式			デスクトップ型
プリント方式			LEDヘッド＋乾式電子写真方式
解像度			600dpi（ドット制御技術により600×9600dpi相当）
プリント速度（コピーモード時※1）	普通紙モード	モノクロ	38枚/分（A4横）、23枚/分（B4縦）、21枚/分（A3縦）
		カラー	33枚/分（A4横）、20枚/分（B4縦）、18枚/分（A3縦）
	厚紙モード	モノクロ	23枚/分（A4横）、14枚/分（B4縦）、12枚/分（A3縦）
		カラー	
	OHPモード	モノクロ	29枚/分（A4横）
		カラー	6枚/分（A4横）
用紙	種類	普通紙	カセット給紙　：64～ 157g/m^2 MPF給紙　：64～ 210g/m^2
		特殊紙	MPF給紙　：ラベル紙、専用OHPフィルム、官製はがき、封筒
	サイズ		カセット給紙　：A3縦、B4縦、A4横、B5横、A5横、レター横 MPF給紙　：幅90mm～297mm、長さ148mm～1200mm （長尺紙：幅210mm～297mm，長さ433mm～1200mm）
両面印刷	用紙種類 用紙サイズ		普通紙　：80～105g/m^2 A3、B4、A4、B5、A5、レター
給紙方式容量	標準		カセット給紙　：普通紙............550枚（64g/m^2にて高さ50mm以下） 厚紙................250枚（128g/m^2にて高さ40mm以下）
			MPF給紙※2　：普通紙（64g/m^2）.................100枚（A4横まで） 厚紙（128g/m^2）.......................50枚 官製はがき、ラベル紙.................30枚 封筒 ....10枚 OHPフィルム ....50枚 長尺紙 1枚
	オプション		拡張ペーパフィーダセット：普通紙............550枚（64g/m^2にて高さ50mm以下） （4台まで追加できます）　厚紙................250枚（128g/m^2にて高さ40mm以下）

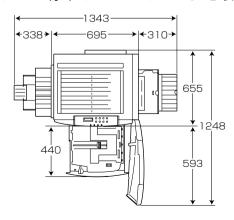
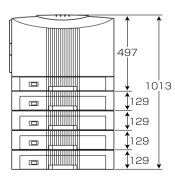
※1 「クイック起動」でウォームアップ直後や、印刷モードの設定によりプリント速度が遅くなる場合があります。
※2 MPFで給紙できる普通紙は、高さ11mm以下です。

項目 ＼ 形式		N6000
排紙方式：容量		フェイスダウン：　550枚（64g/m2） フェイスアップ　：　100枚（64g/m2） ：　30枚（ハガキ、ラベル紙） ：　50枚（OHPフィルム）
ウォームアップ時間※3		約99秒（室温23℃、定格電圧時）
ファーストプリント時間	モノクロ	約9秒（1段カセット給紙、A4横、普通紙モード）
	カラー	約11秒（1段カセット給紙、A4横、普通紙モード）
使用環境※4	動作時	温度:10〜33℃、湿度:20〜80%RH（結露なき事）
	非動作時	温度:−5〜40℃、湿度:20〜80%RH（結露なき事）※5
稼働音※6	プリント時	53dB以下
	待機時	40dB以下
使用電源		AC100V±10%　50/60Hz
消費電力		最大:　1200W (12A) 以下 プリント時平均:　約930W 待機時平均:　約290W スタンバイモード時平均:　約150W スリープ時平均:　25W以下 電源スイッチOFF時:　0W
外形寸法（W×D×H）		695mm ×655mm ×　497mm 695mm ×655mm ×　626mm（拡張ペーパフィーダセット1段装着時） 695mm ×655mm ×　755mm（拡張ペーパフィーダセット2段装着時） 695mm ×655mm ×　884mm（拡張ペーパフィーダセット3段装着時） 695mm ×655mm ×1013mm（拡張ペーパフィーダセット4段装着時）
本体重量（消耗品を除く）		約72kg
妨害波規格		VCCIクラスA情報技術装置に適合

※3　スリープモードからのウォームアップ時間です。電源投入後は約110秒かかります。（但し、「クイック起動」ON、「自動レジストレーション」OFF、「自動濃度調整」OFFに設定した場合です。その他の設定ではさらに時間がかかる場合があります）
※4　温度30℃以上は湿度70%以下でご使用ください。
※5　−5〜5℃／35〜40℃環境に、通算20日以上の放置は避けてください。
※6　本体正面にて断続的な尖頭ピーク値は除く。

項目		N6000
消耗品※7		ドラムセット（ブラック） : 38,000枚（A4横、連続印字） ドラムセット（カラー） : 28,000枚（A4横、連続印字） トナーセット（ブラック） : 15,000枚（A4横、平均印字率5%、連続印字、常温常湿） トナーセット（カラー） : 15,000枚（A4横、平均印字率5%、連続印字、常温常湿） 定着クリーナ : 15,000枚（A4横）
本体耐久期間		150万枚※8または5年のいずれか早い方
インターフェイス	標準	パラレルインターフェイス ×1（IEEE 1284/ECPモード対応※9） USB1.1インターフェース × 1※10
	オプション	インターフェイス拡張スロット × 1（LAN I/Fボード用）
CPU		64bit RISC VR5500 (400MHz)
システムRAM	標準	64MB
	オプション	64MB/128MB（最大256MB:128MB×2枚）※11
ハードディスクユニット(オプション)		40GB
制御コード体系		(ESC/P･ESC/Page･201H) + カシオ拡張コマンド
内蔵フォント		平成明朝体、平成角ゴシック体、欧文フォント14書体、ANK、OCR-B

※7 消耗品の交換目安は( )内の各条件でプリントした場合です。各条件以外でプリントした場合は、交換目安より早く交換時期になることがあります。
※8 A4サイズで連続印刷した場合の耐久枚数です。耐久枚数はお客様の使用条件により変わります。2枚連続印刷を間欠して繰り返した場合は60万枚になります。
※9 パソコン側のパラレルインターフェイスがECPモードに対応している必要があります。
※10 パソコン側は、USBポートをサポートしたWindows Me、2000、XPのみ対応しています。
※11 最大256MBのメモリにするには、標準の64MBのメモリを取り外す必要があります。

外形寸法図

［概略寸法：単位mm］

付録 2. 用紙について

■使用できる用紙について

普通紙

一般にページプリンタ用、乾式コピー機用として販売されている上質紙、および再生紙がご使用いただけますが、より快適な印刷を行なうためには、次表のような弊社推奨用紙をご使用ください。推奨用紙以外をご使用の場合は、表内に記載されているサイズおよび使用可能坪量の範囲内の中性紙をご使用ください。

ポイント **表内のサイズや厚さ（坪量）の用紙でも紙質等により紙詰まりが多発したり、画質が低下する事があります。大量の用紙をお買い求めになるときは、事前に十分テスト印刷を行ない、このようなトラブルが発生しない事をご確認ください。**

サイズ	推奨用紙名		使用可能坪量(g/m²)	
			ペーパカセット	マルチペーパフィーダ
A3 B4 A4 B5	日本製紙 XEROX XEROX リコー	しらおい(105g/m²、128g/m²、157g/m²) JD紙、Ncolor209(209g/m²) Green100(再生紙) マイペーパー	64～157	64～210
A5	日本製紙	しらおい(105g/m²、128g/m²、157g/m²)		

ポイント **106～210g/m² の厚紙はプリンタの紙送り方向に対してY目のものをご使用ください。用紙には裁断の方向によりＹ目とＴ目があります。印刷の際はモードを** ☞ 厚紙（30 ページ） **で印刷してください。**

カラー印刷用 上質紙

より鮮やかなカラー印刷をするための上質紙です。
白色度・表面平滑度が高いため、本来の色に近いカラー印刷ができます。

種類	サイズ	推奨紙名（商品コード）
カラー印刷用上質紙	A3、A4	ミノルタ販売　CF Paper (80g/m²)

両面印刷用紙

種類	サイズ	推奨紙名（商品コード）
両面印刷用上質紙	A3、B4、A4、B5	XEROX　JD紙 (98g/m²)

長尺紙

種類	サイズ	推奨紙名（商品コード）
長尺印刷用上質紙	297×900mm 297×600mm	日本製紙　しらおい (128g/m²、157g/m²)
	297×1200mm	XEROX　長尺用紙 (128g/m²)

- ポイント **裁断が直角でない用紙や裁断面にバリがある用紙および、長さに対して幅が極端に狭い用紙（90×900mm等）は斜め送りなど給紙不良の原因になりますので使用できません。**
- ポイント **長尺紙の使用方法、注意事項など詳細は** **長尺紙（33 ページ）** **を参照してください。**
- ポイント **両面印刷に使用する用紙は 80 ～ 105g/m² の上質をご使用ください。それ以外の用紙を使用すると紙詰まりが発生しやすくなります。**

特殊紙

＜OHP フィルム＞

OHP フィルムは、次表の弊社指定の用紙をご使用ください。また、OHP フィルムは、マルチペーパフィーダから給紙してください。詳しくは ☞ OHPフィルム（29ページ） を参照してください。

種類	サイズ (mm)	型番	給紙装置
OHPフィルム	A4 (210×297)	N-OHPS	マルチペーパフィーダ 給紙容量　50枚

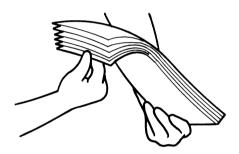
OHP フィルムは N-OHPS をご使用ください。その他の OHP フィルムを使用すると定着器に巻き付くなど故障の原因になる事があります。特にカラー複写機用やインクジェット用のOHPフィルムは使用できません。また、OHP フィルムに印刷するときは OHP モードで印刷してください。☞ OHPフィルム（29ページ） 普通紙モードで印刷すると画像不良が発生します。

＜ラベル紙・ハガキ・封筒＞

ラベル紙・ハガキは次表の弊社推奨の用紙をご使用ください。また、これらの特殊紙はマルチペーパフィーダから給紙してください。詳しくは ☞ ラベル紙(30ページ)、官製ハガキ(31ページ)、封筒(32ページ)を参照してください。

種類	サイズ (mm)	推奨用紙名 (商品コード)	給紙装置
ラベル紙	A4 (210×297)	コクヨ (20面カット品：LBP-A193) (ノーカット品： LBP-A190)	マルチペーパフィーダ 給紙容量　30枚
ハガキ	通常 (100×148) 往復 (200×148)	官製ハガキ	
封筒	長形3号 (120×235) 長形4号(90×210) 洋形1号(120×176)	ハート(株) ケント100g/m²(白)　長形　3号 ハート(株) ケント100g/m²(白)　長形　4号 ハート(株) 羽衣　洋形　1号	マルチペーパフィーダ 給紙容量　10枚

特殊紙使用上のご注意

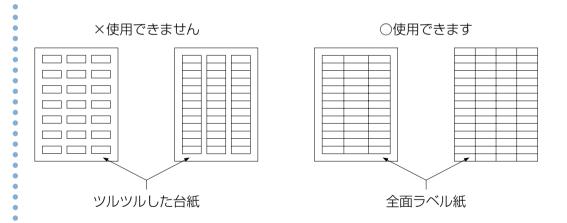
- ラベル紙･ハガキはカールがないものをご使用ください。
- 往復ハガキは折れ目がないものをご使用ください。
- 特殊紙の印刷品質は、推奨している普通紙の印刷品質より劣る事があります。
- 特殊紙に印刷するときには、複数枚が付着しないようによくさばいてください。
- 封筒はシワが発生する事があります。

用紙保管上のご注意

適切な用紙でも、保管状態が悪いと用紙が変質し、紙詰まりや画質不良の原因となります。用紙は、以下の事に注意して正しく保管してください。

- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 開封後、残りの用紙は包装してあった紙に包み、キャビネットの中や湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙は立て掛けずに平らな場所に保管してください。
- シワ､折れ､カールなどがつかないように保管してください。
- 直射日光の当たらない場所に保管してください。

■使用できない用紙について

下記のような普通紙や特殊紙をお使いになると、紙詰まり･画質低下や故障などの原因となりますので使用しないでください。

- カラーインクジェット用紙
- N-OHPS 以外の OHP フィルム
- 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- 本プリンタや他のプリンタで一度印刷された用紙（両面印刷装置による両面印刷は可）
- コピー機で印刷済みの用紙
- シワや折れ、破れのある用紙
- ミシン目のある用紙、穴あき用紙
- 湿っている用紙、濡れている用紙
- カールしている用紙、静電気で密着している用紙
- 貼り合わせた用紙、ノリのついた用紙
- 紙の表面に特殊コーティングした用紙、表面加工したカラー用紙
- 熱で変質するインクを使って印刷されている用紙、変質しやすい用紙
- 感熱用紙
- カーボン紙
- 酸性紙（酸性紙を長期間ご使用になると、ドラム表面が劣化して印刷がうすくなります。）
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどがついた用紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
- 凹凸や留め金や透明な窓のある封筒
- 台紙全体がラベルで覆われていないラベル用紙

付録 3. プリンタを運ぶとき

近くに移動するとき

プリンタの電源スイッチをオフにし、以下の付属品類を取り外し、下記の注意事項を守って、水平にゆっくりと移動してください。

- ●電源コード
- ●プリンタケーブル
- ●ペーパカセット内の用紙
- ●拡張ペーパフィーダ、その他のオプション給紙装置
- ●フェイスアップトレイ、その他のオプション排紙装置

⚠ 注 意

製品を持ち上げる際は、必ず４人以上で作業してください。
製品の重量は約72kgあります。無理な姿勢で持ち上げて腰を痛めないようご注意ください。
図のように製品の取っ手をしっかりと持って、水平に持ち上げてください。
取っ手以外の場所に手をかけたり、傾けて持ち上げるとプリンタの破損および落下によるけがの恐れがあります。

プリンタをキャスター付きの台に乗せるときは、必ずキャスターを固定して動かないようにしてから作業してください。作業中に台が動くとプリンタの落下などによりけがの原因になる事があります。

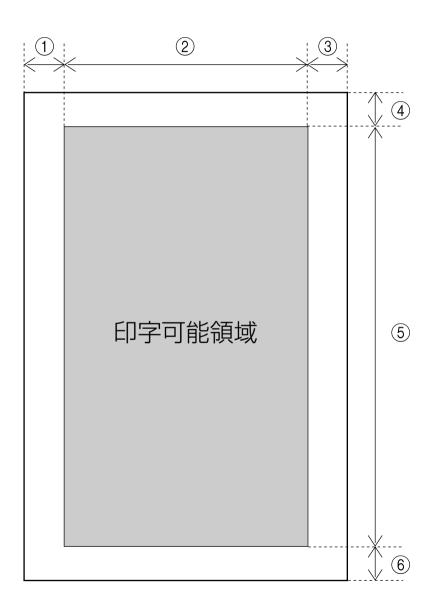
プリンタをキャスター付きの台に乗せたまま移動する際は、通路に段差がない場所を移動してください。段差でプリンタが転倒し、けがの原因になることがあります。

遠くに輸送するとき

本プリンタを輸送する場合は、取り付けてあるすべての付属品、消耗品、給紙装置や排紙装置などのオプション類を取り外し、本プリンタを購入時に使用されていた梱包材や輸送用緩衝材を、購入時と同じ状態に取り付けて梱包する必要があります。
本プリンタを輸送する場合は、お買い求めの販売店またはカシオテクノ・コールセンター ☞(89 ページ) にご相談ください。

トナーセットやドラムセットは必ず取り外して、プリンタとは別に梱包して輸送してください。トナーセットやドラムセットを取り付けたまま輸送すると、プリンタ内にトナーがこぼれてプリンタの故障の原因になります。
適切な梱包を行わないで輸送した事によるプリンタの故障につきましては、保証期間中でも無償修理の対象外になりますのでご注意ください。

付録 4. 印字領域

各用紙サイズにおける最大印字可能領域は以下の通りです。

(単位：mm)

	①	②	③	④	⑤	⑥
A3	5.0	287	5.0	5.0	410	5.0
B4	5.0	247	5.0	5.0	354	5.0
A4	5.0	200	5.0	5.0	287	5.0
B5	5.0	172	5.0	5.0	247	5.0
A5	5.0	138	5.0	5.0	200	5.0
Letter (LT)	5.0	206	5.0	5.0	269	5.0
ハガキ	5.0	90	5.0	5.0	138	5.0

(単位：ドット　600dpi 時)

	①	②	③	④	⑤	⑥
A3	120	6776	120	120	9680	120
B4	120	5832	120	120	8360	120
A4	120	4720	120	120	6776	120
B5	120	4060	120	120	5832	120
A5	120	3256	120	120	4720	120
Letter (LT)	120	4860	120	120	6360	120
ハガキ	120	2122	120	120	3256	120

(単位：ドット　300dpi 時)

	①	②	③	④	⑤	⑥
A3	60	3388	60	60	4840	60
B4	60	2916	60	60	4180	60
A4	60	2360	60	60	3388	60
B5	60	2030	60	60	2916	60
A5	60	1628	60	60	2360	60
Letter (LT)	60	2430	60	60	3180	60
ハガキ	60	1061	60	60	1628	60

※ アプリケーションソフトによっては上記最大印字領域まで印刷できないことがあります。

※ 長尺紙（A3 サイズより長い用紙）は①,③,④の余白を 10mm 以上、⑥の余白を 50mm 以上とって印刷してください。

付録 5. メモリ全般について

本プリンタは標準で 64MB のメモリを持っています。
本プリンタの優れた機能をご使用していただくためにメモリの増設をすることができます。

増設用メモリモジュール（オプション）

本プリンタは、メモリを増設するために、64MB/128MBの増設用メモリモジュールのいずれか 2 つを搭載することができます。（最大 256MB）
それぞれの型番については、下表を参照してください。

品　名	型　番
増設用メモリモジュール(64MB)	CP-SDR64M
増設用メモリモジュール(128MB)	CP-SDR128M

※ 最大 256MB にするには標準で装着されている 64MB のメモリと増設用メモリモジュール128MBとの差し替えが必要です。

★ 本プリンタは標準メモリ（64MB）でご使用いただけますが、より快適な印刷速度を確保するために、メモリを増設することを推奨します。また、オプション装置を接続した場合や印刷するデータによっても、メモリ増設することにより印刷速度が向上する場合があります。メモリサイズのガイドラインは以下の通りです。

		印刷書式	
片面/両面	用紙サイズ	標準設定	写真・イメージやプレゼンテーション
片面	A4	標準（64MB）	+64MB（計 128MB）
	A3	+64MB（計 128MB）	+128MB（計 192MB）
両面	A4	+64MB（計 128MB）	+128MB（計 192MB）
	A3	+128MB（計 192MB）	128MB+128MB*1（計 256MB）

***1）標準メモリとの差し替えが必要です。**

※長尺紙を印刷する場合、

		印刷書式	
片面/両面	用紙サイズ	標準設定（高速）	標準設定（高精細）
片面	長尺紙 297x1200mm	+64MB（計 128MB）	+128MB（計 192MB）

付録 6. 複数のインターフェイスを使用した際の運用について

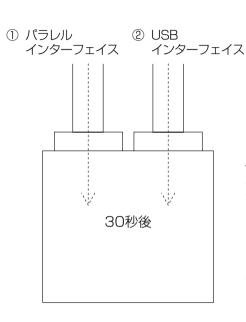
本プリンタは、標準で2口（パラレル、USB）のインターフェイスを装備していますが、オプションの「LAN I/Fボード」を増設することにより、合計３口のインターフェイスが使用できます。
ここでは、２口（パラレル、USB）のインターフェイスを使用した際の運用について説明します。３口目にオプションのインターフェイスを追加した場合も同様に自動で切り替わります。

インターフェイスの自動切り替え

２つのインターフェイスからのデータ受信を自動的に排他制御し、先に受信したインターフェイスからのデータを印刷します。

現在、受信しているインターフェイスからの印刷が完全に終了した後、タイムアウト時間を経過すれば、他方のインターフェイスもデータ受信可能となります。

タイムアウト時間は、「メニュー設定」の「I/F 設定」→「H0 タイムアウト」の項目で設定できます。☞ リファレンスマニュアル「H0タイムアウト」（35ページ）

例）タイムアウト時間を 30 秒に設定した場合

パラレルインターフェイス側①からデータ受信を行ない、処理データがなくなり、30秒間経過した後、両方のインターフェイス①②が受信待ちになります。

付録7. 保証について

6ヶ月サービス無償保証とお願い

■お客様へのお願い

万一の故障に関しまして、その対応をスムーズに実施するために、弊社ではお買い上げいただいたお客様の登録をさせていただいております。
大変お手数とは存じますが、ご協力の程、お願い申し上げます。

① プリンタに同梱してあります「お客様登録カード」に必要事項をご記入の上、必ず設置時に投函をお願いいたします。
② カードが弊社に着信しだい「お客様登録」を実施し、弊社サービス部門より「保証書」を送付いたします。

保証書はプリンタご購入以後6ヶ月間、万一の故障に際し無償にて修理をさせていただくためのものです。保証書は再発行されませんので、大切に保管していただき、修理の際にご提示願います。
当保証書がない場合は、手続き中を除き有償修理とさせていただきますのでご了承ください。また、保証および保守・サービス・各問い合わせ窓口でのサポートは、本製品を日本国内でご使用になる場合に限らせていただきますのでご了承願います。

■保証規定

本機は高度な電子技術と機械技術(メカトロニクス)および万全の品質管理の下で造られた製品です。
通常のご使用において、万一故障が生じた場合は、お買い上げの日より6ヶ月間無償修理いたします。

次の場合は無償保証期間内でも有償となり、修理に要した実費を申し受けますのでご了承ください。

(1) 誤用･乱用による故障や取り扱い不注意による故障および損傷。
(2) 火災・天災などの災害による故障および損傷。
(3) 外装を開けた場合、不適当な修理や改造およびトナー、ドラムの消耗品の改造に起因する故障、損傷。
(4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷。
(5) ご使用中に、外装・操作パネル等に生じたキズなどの外観上の変化。
(6) 移動および運搬によって生じた故障および損傷。
(7) 「保証書」の提示がない場合、および本証に必要事項(お買い上げ日など)の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
(8) 用紙、ドラムトナーセットなどの消耗品、および定期交換部品。

- 無償保証期間経過後の修理は、実費にて申し受けます。
- 修理内容などの記録は、修理伝票にかえさせていただきます。
「保証書」は保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものであり、保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 弊社は消耗品および補修用性能部品(修理用部品)を、生産終了後5年間保有しています。

保守契約制度がありますので、カシオテクノ･コールセンターにお申し込みください。
ご不明な点などありましたら、お客様のご相談窓口として☞カシオテクノ･コールセンター(89ページ)をご利用ください。

付録８. マニュアルの印刷とキーワードによる検索方法

印刷方法

本マニュアルはパソコンの画面で見やすいようにA4横でレイアウトされています。このまま印刷すると、パソコン画面と同じ様に１枚の用紙に１ページずつ印刷されます。

●マルチページ印刷をおすすめします

本プリンタのマルチページ印刷機能を利用して、１枚の用紙に２ページずつ印刷できます。

図：マルチページ印刷の設定

アプリケーションソフトの「ファイル」→「印刷」画面で「SPEEDIA N6000 」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックし、「基本設定」タブ画面を表示。（アプリケーションソフトにより一部異なる場合があります。）

プリンタドライバのレイアウト画面で、図のように「用紙サイズ」をA4「用紙方向」を横にして、「マルチページ」を選択（☑）すると、左のページレイアウト表示が図のようになり、１枚に２ページ印刷できます。（あらかじめ「印刷」画面の「用紙サイズに合わせる」を選択（☑）しておいてください。）

☑ ポイント **オプションの両面印刷装置を装着しているプリンタであれば、図の画面で「両面印刷」を選択（☑）すると、さらに用紙の節約になります。**

キーワードによる検索方法

本マニュアル内の調べたい項目を探すときは検索機能をご利用ください。

●検索の方法

（1） ツールバーの ボタンを押すと、検索ダイアログが表示されます。探したい文字列を入力して「検索」ボタンを押してください。

（2） 同じ文字列で次を探すときは、画面上で「右クリック」して「次を検索」を選びます。

付録9. 使用済みパソコン・プリンタ・情報通信機器の回収再資源化について

カシオ計算機は2001年4月よりご使用済みとなりました事業系パソコン、プリンタおよび情報通信機器の回収・再資源化を有償にて行っております。
回収お申し込み方法など詳しくは下記ホームページをご覧ください。

http://www.casio.co.jp/env/recycle/pc.html

カシオ計算機株式会社
システムソリューション営業統轄部　ページプリンタ企画室

〒151-8543　東京都渋谷区本町1－6－2
電話 03-5334-4552

東京地区	電話 03-5334-4550
西日本地区	電話 06-6243-2100
中部地区	電話 052-324-2135
カシオ情報機器　北海道地区	電話 011-221-7891
カシオ情報機器　東北地区	電話 022-718-0650
カシオ情報機器　中国地区	電話 082-239-1500
カシオ情報機器　四国地区	電話 087-862-8822
カシオ情報機器　九州地区	電話 092-475-3939
テクニカル･インフォメーション･センター	電話 03-5334-4557
インターネット･ホームページ	http://www.casio.co.jp/ppr/

SPEEDIA N6000

ハードウェアマニュアル

2005年5月31日　第1版発行

カシオ計算機株式会社
カシオ電子工業株式会社

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

エコマーク認定番号
第03122009号